

Title: Proposal to add 8 ideographs to UAX #45
Author: Chiang Chi-Ying (江祈瑩)
Status: Individual contribution
Action: For consideration by UTC
Date: January 17, 2026

This document proposes adding 8 ideographs to UAX #45.

I. Proposed characters

No.	Glyph	IDS	RS	TS	FS	Evidence
1	𪛗	𪛗 𪛗 𪛗 𪛗 𪛗	122.15	20	1	Fig. 1–11
2	𪛘	𪛘 示 氏	113.3	8	3	Fig. 12–20
3	𪛙	𪛙 木 喬	75.12	16	3	Fig. 21–28
4	𪛚	𪛚 奏 騷	37.24	27	1	Fig. 29–31
5	𪛛	𪛛 米 微	119.13	19	3	Fig. 32–43
6	𪛜	𪛜 𪛜 𪛜 𪛜 有 有 有 𪛜 有 有 有	27.36	38	1	Fig. 44–50
7	𪛝	𪛝 火 ㄣ	86.2	6	4	Fig. 51–60
8	𪛞	𪛞 𪛞 𪛞 𪛞 𪛞 𪛞 𪛞	30.4	7	4	Fig. 61–66

II. Introduction of the proposed characters

2.1 The first character

𩺰 is used in the word 𩺰魚, meaning mandarin fish. The word is also written as 𩺰魚. Although most evidence depicts the character as 𩺰 or 𩺰, the origin of the character can be considered as replacing the 炎 component in 𩺰 with 魚. Therefore, it is proposed as 𩺰 to match the design of 𩺰.

2.2 The second character

𩺱 is used in the name of the new religion 大山祇命神示教会 (Ōyamanezunomikoto Shinji Kyōkai). The name is usually written as 大山ねずの命神示教会 or 大山祇命神示教会 because the character is not yet encoded. According to the information on the website of the religion, the last stroke of the character is N (捺) but not XG (斜鉤) (See Fig. 20). Therefore, the glyph is proposed as 𩺱 but not 𩺱.

2.3 The third character

𩺲 is a variant of 橋. It can be seen on 峨眉山下橋杭 (the Pile from the Bridge of the Foot of Mt. Emei), where the text on it reads “峨眉山下𩺲”. It is currently housed in Teikanen (貞観園) in Niigata (See Fig. 28).

2.4 The fourth character

𩺳 is used in the novel title 𩺳楽都市 OSAKA (Noise City Osaka). It also has a video game adaptation of the same name. The title is usually written as 奏 (騒) 楽都市 OSAKA or ソウ楽都市 OSAKA because the character is not yet encoded.

2.5 The fifth character

𩺴 is the character for micron (old name for micrometer). It can be seen in The Weights and Measures Act (度量衡法) of Manchukuo. The 微 component represents 10^{-6} in Chinese numerals, and the 米 component means meter. This construction is analogous to other metric units such as 粉 (decimeter, 分= 10^{-1}), 糲 (centimeter, 厘= 10^{-2}), and 糲 (millimeter, 毛= 10^{-3}).

2.6 The sixth character

𩺵 represents the place name 天橋立 (Amanohashidate). There is also a similar character 𩺵 (U+32501) which also means Amanohashidate.

2.7 The seventh character

𠂇 is the abbreviated form of 炎.

2.8 The eighth character

𠂈 is the abbreviated form of 品.

III. Attachments

The font for the proposed characters (PUA202601.ttf) and the metadata (metadata.txt) are attached to this PDF document.

IV. Evidence

Fig. 1 田中芳男 (1901-1902). 水産名彙 全.p. 84.

https://nrifs.fra.affrc.go.jp/book/D_archives/2011DA021.html

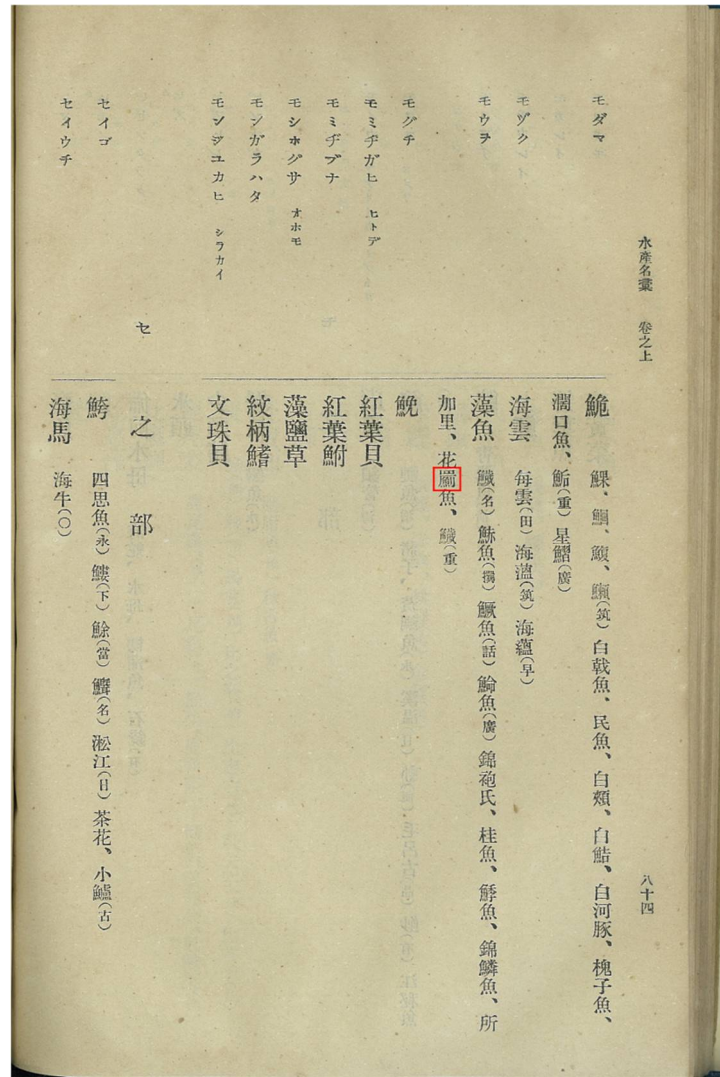


Fig. 2 田中芳男 (1901-1902). 水産名彙 全. p. 69.

https://nrifs.fra.affrc.go.jp/book/D_archives/2011DA021.html

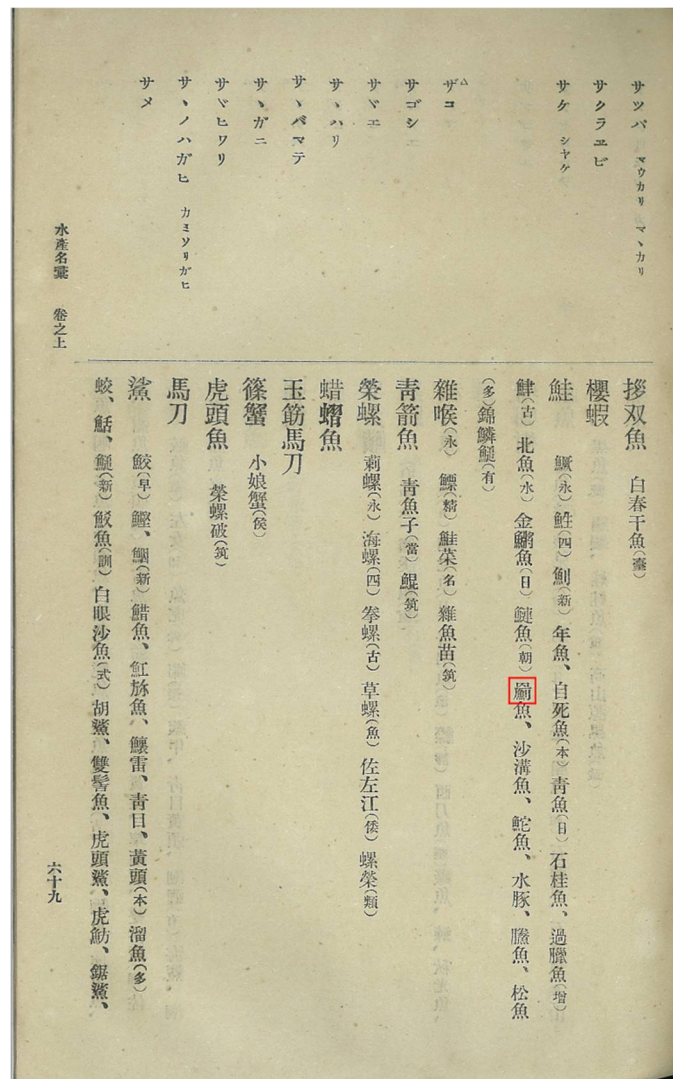


Fig. 3 日本魚名集覧 第2部. p.263.

<https://dl.ndl.go.jp/pid/1216591/1/139>

青目黄頭	サメ 107	青鱗	コノシロ, ヒラ 103, 107, ツナ シ, サバ 107
青甘魚	ブリ 107	青鱗仔	コノシロ, ツナシ 107
青串魚	サンマ 3, 107	青鱗魚	コノシロ 3, 18
青沙魚	アイザメ 3	花飛魚	サバ 107
青松	コノシロ 103, 107, ツナシ 107	花條魚	ドジョオ 107
青花	サバ 108	花連	アジ 107
青花魚	サバ 3, 103, 107, ホンサバ 3	花魚	ハモ, ハム, メクラハゼ 107, トビハゼ 19, 107, ニベ 19, 103, 107
青背	コノシロ 103	花鱸魚	イドグロ 107
青前魚	ワラサ 3, 103, 107	花鯨	イラオセ, ヒイラキ 107
青飛魚	モロアジ 107	花鮠	ムツ 108
青郎君	シヨオサイフグ, シヨオサイ 107	花鮠魚	ムツ 3
青郎魚	チムダイ, 103, 107, トビウオ, トビエイ, アゴ 107	花鯽	ムツ 3
青馬	コイ 103, 107 マゴイ 107	花鰱魚	モウオ 107
青脊	コノシロ, ツナシ 107	阿乙吳	アイゴ 18, 107
青魚	カド 103, 107, サバ 3, 18, 103, ニシン 3, 11, 18, 19, 103, 107, ホンサバ 18, メナダ 107	阿五	アンゴ 103, 107, アンコオ 107
青魚子	サゴシ 103	阿比	アビ 18
青魚胡	メナダ 3	阿由	アユ 107
青貫魚	サバ 103, 107, ホンサバ 3	阿代	アシロ 18
青箭魚	サゴシ 3, 103, 107, サワラ 107 ワラサ 19, 103, 107	阿地	アジ 107
青嘴	サバ 107	阿米魚	アメ, アメノウオ, ミズサケ 107
青嘴魚	オオメダイ 107	阿名吳	アナゴ 107
青鮫魚	キツクリ 103, 107	阿牟古宇	アンコオ 107
青鯊	アオザメ, イラギザメ 107	阿佐知	アサチ 107
青鯽	コノシロ 103, 107, ツナシ 107	阿良	アラ 107
青鱒魚	アオヤガラ 14	阿葉茶	アバチャン 18
青蘭魚	イワシ, オムラ 107	阿散知	アサチ 107
青鰺	オシキウオ 107	阿嶺	アユ 107
青鱚魚	ニシン 19, 107, カド 107	阿遲	アジ 107
		阿彌	アミ, アミザコ 107
		阿羅	アラ 107

Fig. 4 日本魚名集覧 第2部. p.290.

<https://dl.ndl.go.jp/pid/1216591/1/153>

鯉魚	シコ 3, アニ, ナマズ 103, 107	魴鱒	カマツカ, カワキス 107
鰍	フグ 103, 107, フクベ, フカ 107	藻臥	フナ (モブシ) 103
鰍魚	フグ 103	藻魚	アカウ, モウオ 103, 107ソイ 111, イソメバル 107
鰍鮓	フグ 3, 103, 107, マフグ, フクベ 107	藻鰈	カレイ 107
鰍鯪	フグ 3, 103, フナ 107	鰈	アラ 107
鰍鯪魚	ナギ 103, 107, ウナギ 107	鰈夷	フグ 103, 107, フクベ 107
鰍鮓	フグ 3, 107, フクベ 107	鰈魚	ニゴイ, 19', 107, ミゴイ 107
鰈	イジモチ 3, 18, 19, 103, 107, グチ 103, 107, ニベ 3, 18	鰈雷魚	サメ 107
鰈	タチウオ, チチカムリ, フナ, ムシブナ 103, 107, タナゴ 18 103, 107	鰈	ニゴイ 19', ミゴイ 103, 107
鰈魚	フナ 107	鰈魚	ハゼ 19', 107
鰈	イシブシ 107	鰈魚	フカ 103, チョオザメ 107
鰈虎魚	ハゼ 19', 103, 107	鰈	エイ 103, 107, コメ 107
鰈鮓	カレイ 103, 107	鰈魚	キスゴ 103, 107, キス 107
鰈魚	フグ 103, 107, フクベ 107	鰈蛇	ハゼ 19', 107
鰈鯪	フグ 3, 103, 107, フクベ 107	鰈蛇	ハゼ 108
鰈魚	アユカケ 103, 107	鰈條魚	シラス 103, 107
鰈	アナゴ 103, 107	鰈溪	サビアユ 107
鰈魚	ナヨシ, クチメ, ボラ 107	鰈鰻	オオウナギ 107
鰈魚	アラ 103, 107	鰈鰻	タイ 107
鰈	イワシ, チヌダイ, カイズ, オムラ, ワニ, マゴイ 107	鰈代魚	マハタ ハタジロ 107
鰈	タカベ 14, 19, 103, 107	鰈魚	サケ, シヤケ 107
鰈魚	ハモ, ハム 107		
鰈魚	メナダ 107		
鰈	トビエイ, トリエイ, トヒウオ 107		
鰈	ウナギ 107		
鰈	フグ, フクベ 107		

廿一畫

鰈	イワシ, エソ, ハマチ 103, 107 ハス 3, 18, 14, 103, 107, オム ラ, ヒラ, ハリマチ 107, 19'
鰈魚	スウユウ 8, ヒラ 103, ボラ 19'
鰈鼻	ボラ 107
鰈	イワシ, 18, 103, 107, オムラ 103, 107,

Fig. 5 日本魚名集覧 第2部. p.292.

<https://dl.ndl.go.jp/pid/1216591/1/154>

鰻絲魚	キギ 103, 107	廿二畫	
鰻	ブリ 18, 103, 107, カマス 107	鰻	カツオ 103
鰻	イワシ 3, ウルメシワシ 107	鰻	タラ 18, 103, 107
鰻子魚	イワシ 107	鰻	コノシロ 3, 18, 103, サッパ 3,
鰻仔	イワシ, オムラ 107		18, サンマ 17
鰻魚	オムラ 107	鰻魚	ツナジ, コノシロ, サバ 107
鰻	フグ, フクベ 107	鰻	ウナギ 18, 103, 107, ムナギ
鰻	フナ 107		107
鰻	コチ 107	鰻魚	ウナギ 108
鰻	ヒラ 107	鰻鯉魚	ウナギ, ムナギ 107
鰻	オコゼ 107	鰻鰻	ウナギ, 103, 107, ムナギ 107
鰻魚	アイナメ, 19, 107, アメ, サケ	鰻鰻	ウナギ, ムナギ 107
	103, 107, アメノウオ, ミズサ	鰻鰻	ウナギ 103
	ケ 107	鰻鰻	ウナギ 3, 107, ハジカミウオ
鰻養	フカ 103, 107		103, 107, ムナギ, サンシヨオ
鰻子魚	エイ 103, オオトビウオ 107		ウオ 107
鰻魚	イサキ 18, 19, キス 110, 107,	鰻鰻魚	ウナギ 103
	キスゴ 107	鰻	アジ 18, 103, 107, マアジ 3,
鰻魚	ヤツメウナギ, ハム, ハモ 107		ブリ 107
鰻魚	オキハゼ 103, 107	鰻鰻魚	ハエ 103, 107, ハヤ 107
鰻歌漁	ナベクサラシ, アオブダイ 107	鰻	コノシロ 3, 18, 103, 107,
鰻乙矢	タイシ 107		チチカムリ, ツガキ, ツツカブ
鰻甲魚	タイムコノゲンパチ, マツカサ		リ, ツバス 103, 107, チヌ,
	ウオ A190, アジ 107		ツナジ 103, チヌダイ, カイズ,
鰻頭魚	カナガシラ 19, 103, 107		コハダ, ママカリ, サッパ 107
鰻車	ウキキ, マンボオ 107	鰻魚	クロダイ, チヌダイ 107
鰻車魚	マンボオ 3, 9, 19, 107, ウキ	鰻鰻魚	コメ 103, 107, エイ, エギレ,
	キ 107		ナベブタウオ 107
鰻	イワナ 19	鰻	コシタミ, タチウオ 103, ヒラ,
鰻鰻	オキサワラ 107		ヒラタ 107
		鰻白魚	ニシン 19, ヒラ 107
		鰻魚	ヒラタ 103

Fig. 7 異魚圖贊箋 卷二, fol. 17b.

<https://ctext.org/library.pl?if=gb&file=210083&page=132>

鈔定四庫全書
卷二
呼焉 石桂魚本艸名鰕魚以其體不能屈曲如僵
蹶也又名鰕魚以其紋斑如織縠也其味如豚又名
水豚名鰕豚扁形濶腹大口細鱗黑斑厚皮緊肉肉
中無細刺者是也按斑色明者雄稍暗者雌背有鬚
鬚刺人李廷飛延壽書云鰕鬚刺凡十二以應十二
月每月一刺有毒人誤中之者惟橄欖核磨水或橄
欖煨存性調長流水服即解也夏月居石穴冬月俛
泥罾魚之沈下者一云鰕性癡見人則樹其鬚謂人

Fig. 9 重修本草綱目啓蒙 卷之二十九. fol. 23a.

<https://dl.ndl.go.jp/pid/2569383/1/26>

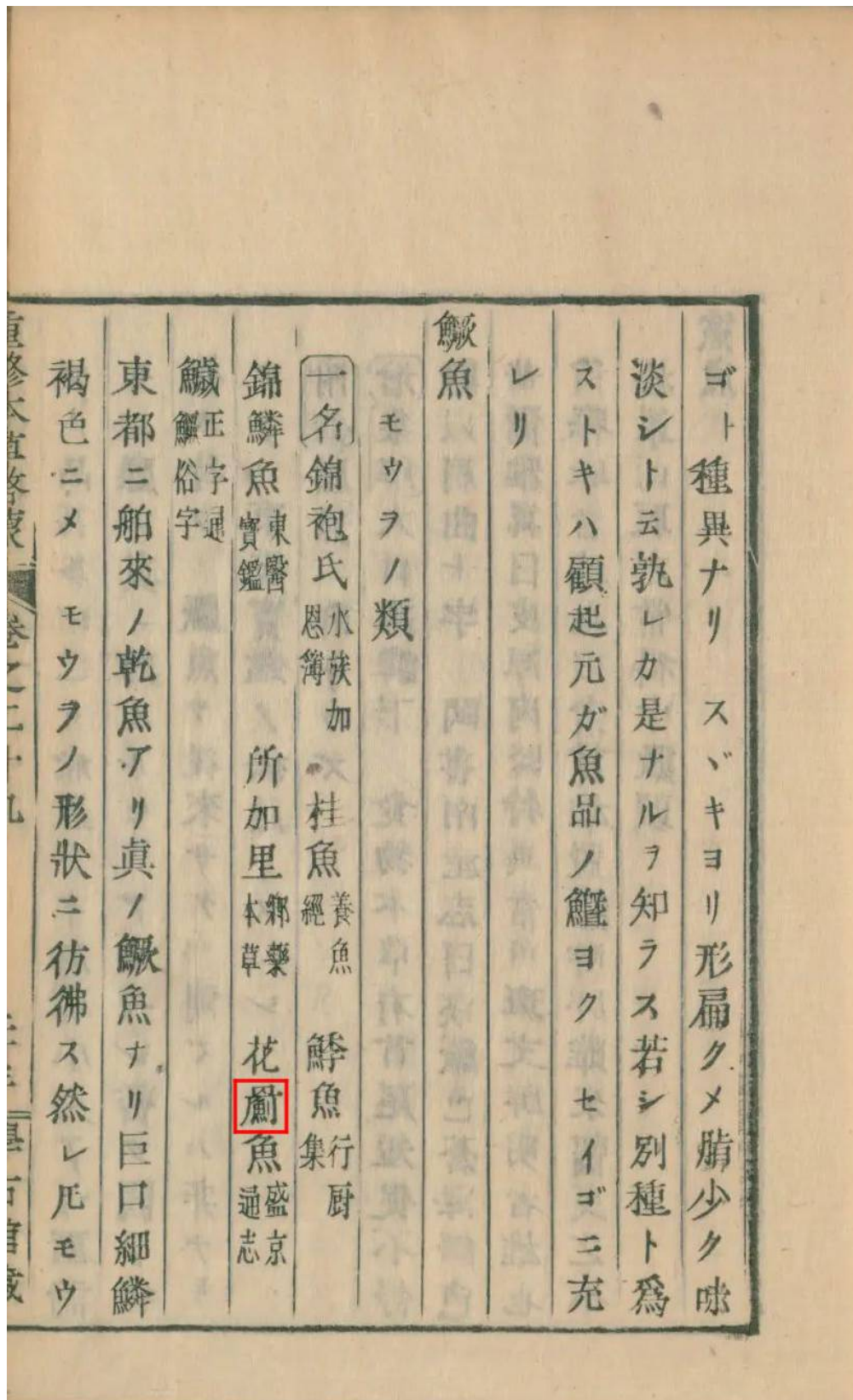


Fig. 10 大日本水産会 (1925). 水産宝典 [1 編] 3 版, 水産名彙. 大日本水産会. p. 2

<https://dl.ndl.go.jp/pid/936753/1/553>

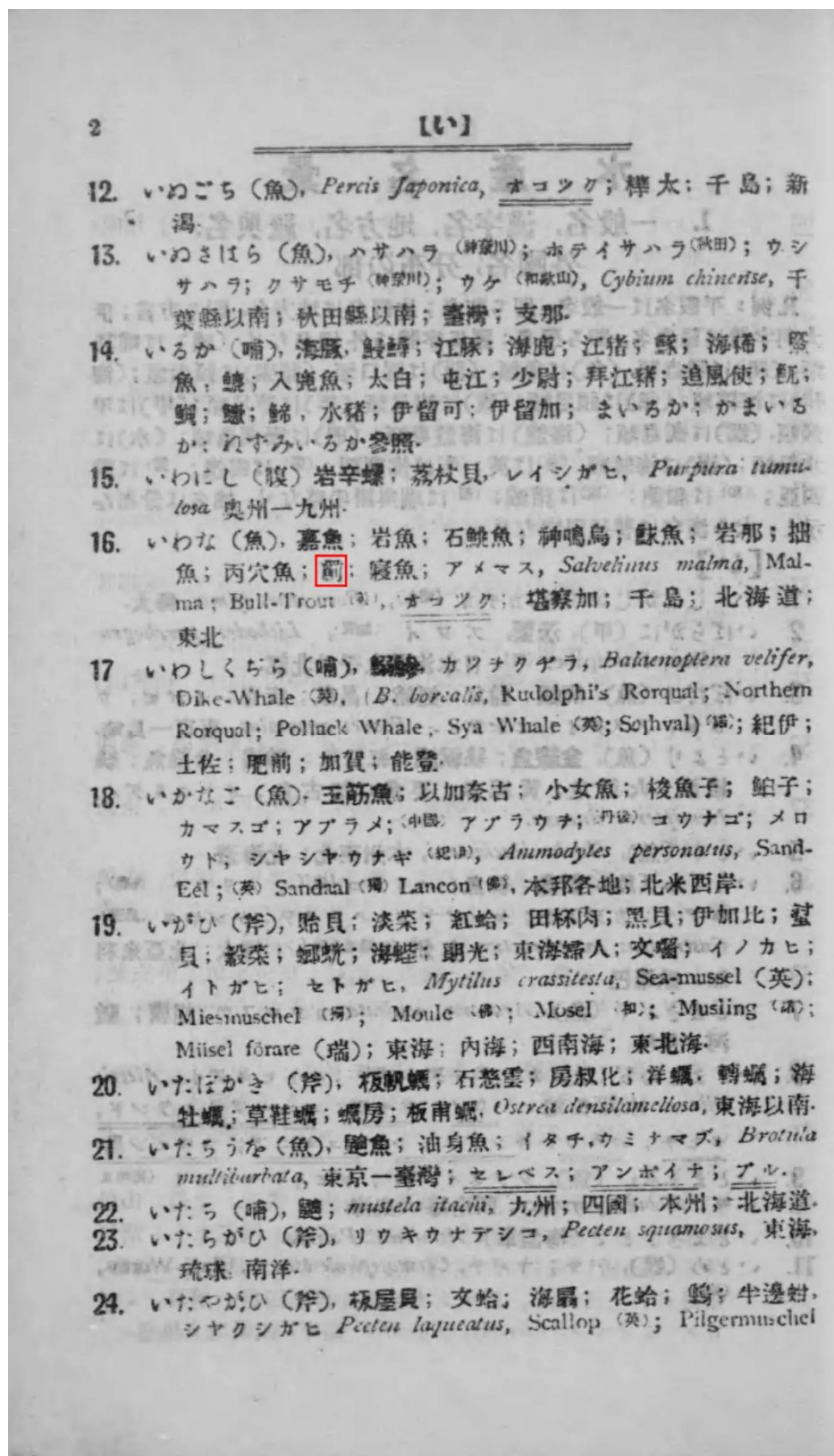


Fig. 11 大日本水産会 (1925). 水産宝典 [1 編] 3 版, 水産名彙. 大日本水産会. p. 43

<https://dl.ndl.go.jp/pid/936753/1/573>

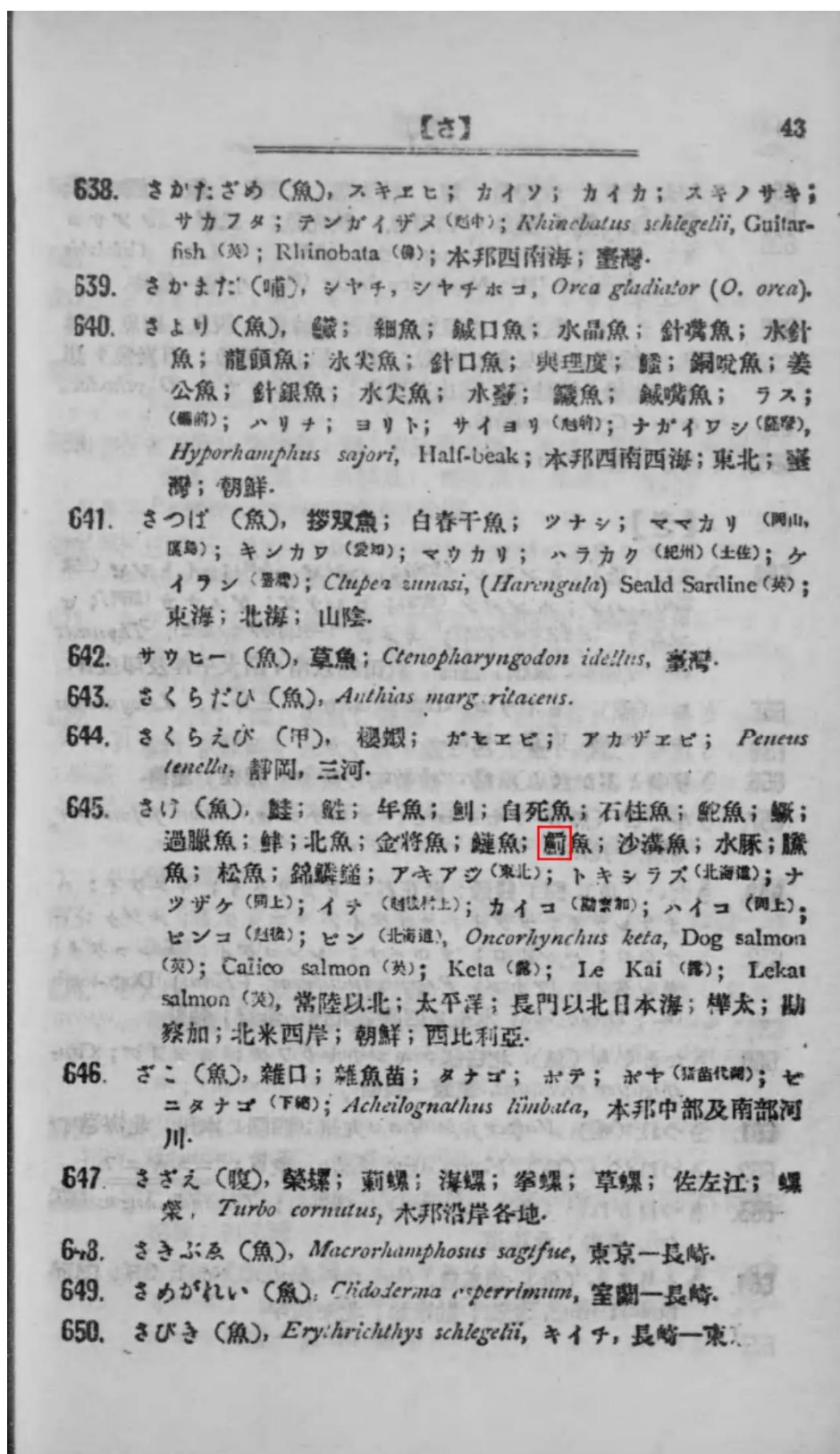


Fig. 12 文化庁: 宗教年鑑 令和 6 年版. p. 163

https://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/hakusho_nenjihokokusho/shukyo_nenkan/pdf/r06nenkan.pdf

包 括 団 体	名 称・法人番号	代 表 役 員	事 務 所・郵便番号・電話
単 立	お う か ん み ち (5060005003855)	磯 三智雄	栃木県那須郡那須町大字高久甲字西表 4453-58 〒 325-0001 ☎ 048(443)0071
単 立	司 権 現 堂 皇 礼 会 (1060005003875)	河 野 ユリ子	栃木県那須郡那須町湯本 203 〒 325-0301 ☎ 0287(76)2202
単 立	ダ ル・ウ ッ サ ラ ーム (7070005007878)	マハムッド・エム デイ・カレド	群馬県伊勢崎市境字町北 772-1 〒 370-0124 ☎ 048(738)0699
単 立	先天大道一貫道日本總天壇 (9030005015338)	滝 口 友樹哉	埼玉県秩父市久那 1007 〒 368-0053 ☎ 0494(24)4522
単 立	宗教法人ヒラームスジ ド・ジヤパンモスクファ ンデーション・ワクフ (1040005019774)	宮澤アブドッラ	千葉県市川市行徳駅前 3-3-2 〒 272-0133 ☎ 047(705)0768
単 立	靈 波 之 光 教 会 (5040005014656)	石 川 靖 夫	千葉県野田市山崎字北亀山 2683-1 〒 278-8521 ☎ 04(7121)2111
単 立	和 豊 帯 の 会 (1040005002788)	西 山 庸 行	千葉県船橋市習志野台 8-49-1 〒 274-0063 ☎ 047(468)4591
単 立	一貫道基礎東京忠恕道院 (5013305000873)	陳 王 春 綱	東京都豊島区東池袋 3-10-4 〒 170-0013 ☎ 03(5950)8521
単 立	偕 和 會 (8011805000366)	小 林 治 樹	東京都葛飾区金町 2-10-6 〒 125-0042 ☎ 03(5699)1551
単 立	宗 教 法 人 G L A (9010505000320)	仲 澤 敏	東京都台東区雷門 2-18-3 〒 111-0034 ☎ 03(3843)7001
単 立	神 聖 宗 し ん せ い 会 (6010705001658)	田 中 宏 一	東京都品川区上大崎 2-4-18 〒 141-0021 ☎ 03(3473)0065
単 立	救 い の 光 教 団 (6010905000229)	山 崎 明 憲	東京都世田谷区北沢 2-22-10 〒 155-0031 ☎ 03(3413)0123
単 立	天 心 聖 教 (4010005000437)	島 田 幸一郎	東京都文京区本駒込 6-10-21 〒 113-0021 ☎ 03(3946)1721
単 立	日本イスラーム文化センター (1013305000786)	シディキ・ア キール	東京都豊島区南大塚 3-42-11 〒 170-0005 ☎ 03(3971)5631
単 立	日本バハイ全国精神行政会 (8011105000728)	平野 キヤサリン	東京都新宿区新宿 7-2-13 〒 160-0022 ☎ 03(3209)7521
単 立	我 國 神 徳 社 (1011105000552)	本 橋 重 倫	東京都新宿区大久保 2-33-18 〒 169-0072 ☎ 03(3209)6106
単 立	大山 檀 命 神 示 教 会 (6020005000070)	森 眞 一	神奈川県横浜市南区宮元町 4-82 〒 232-8515 ☎ 045(731)5373
単 立	か む な が ら の み ち (7020005006257)	北 川 大 介	神奈川県横浜市磯子区岡村 4-17-9 〒 235-0021 ☎ 045(751)2325
単 立	眞 鏡 会 (9020005000035)	宮 原 ハ ッ	神奈川県横浜市神奈川区片倉 1-12-20 〒 221-0865 ☎ 045(491)2955

Fig. 13 横浜市報 定期第 790 号. p. 45

<https://dl.ndl.go.jp/pid/10334458>

横 浜 市 報 定期第 790 号 平成22年12月15日

横 浜 市 公 告 第 846 号

開 発 行 為 に 関 す る 工 事 の 完 了

都 市 計 画 法 (昭 和 43 年 法 律 第 100 号) 第 36 条 第 1 項 に 規 定 す る 次
の 開 発 行 為 に 関 す る 工 事 が 完 了 し た 。

平 成 22 年 12 月 15 日

横 浜 市 長 林 文 子

- 1 開 発 許 可 年 月 日 及 び 許 可 番 号
平 成 20 年 11 月 12 日 第 20 開 1005 号
- 2 開 発 許 可 を 受 け た 者 の 住 所 及 び 氏 名
南 区 宮 元 町 4 丁 目 82 番 地
宗 教 法 人 大 山 𠩺 命 神 示 教 会
代 表 役 員 森 眞 一
- 3 開 発 区 域 に 含 ま れ る 地 域 の 名 称
金 沢 区 富 岡 東 四 丁 目 1,942 番 の 4 の 一 部 、 1,944 番 の 2 から 1,
944 番 の 8 ま で 、 1,944 番 の 口 の 丙 、 1,945 番 の 1 、 1,945 番 の
5 、 1,945 番 の 6 の 一 部 、 1,945 番 の 7 、 1,945 番 の 8 の 一 部 、
1,945 番 の 9 、 1,945 番 の 10 の 一 部 、 1,945 番 の 15 、 1,945 番 の
17 、 1,945 番 の 19 の 一 部 、 1,945 番 の 20 、 1,945 番 の 21 、 1,945
番 の 25 、 1,946 番 、 1,947 番 の 1 、 1,947 番 の 2 及 び 1,948 番 の
一 部

Fig. 14 横浜市報 定期第 827 号. p. 148

<https://dl.ndl.go.jp/pid/10336530>

横 浜 市 報 定期第 827 号 平成23年12月22日

横 浜 市 公 告 第 1010 号

建 築 基 準 法 に 基 づ く 指 定 道 路 の 一 部 廃 止

建 築 基 準 法 （ 昭 和 25 年 法 律 第 201 号 ） 第 42 条 第 2 項 の 規 定 に 基 づ
く 指 定 道 路 を 、 次 の と お り 廃 止 し た 。

平 成 23 年 12 月 22 日

横 浜 市 長 林 文 子

1 廃 止 年 月 日

平 成 23 年 12 月 12 日

2 廃 止 部 分 の 道 路 の 幅 員

4.00 m

3 廃 止 部 分 の 道 路 の 延 長

48.80 m

4 廃 止 の 場 所

南 区 蒔 田 町 96 番 の 1 、 96 番 の 2 及 び 108 番 の 各 一 部

5 申 請 者 の 氏 名

宗 教 法 人 大 山 祇 命 神 示 教 会

代 表 役 員 森 眞 一

Fig. 15 井上順孝, <新新宗教>概念の学術的有効性について, 宗教と社会, 1998, 3 巻, p. 21

https://www.jstage.jst.go.jp/article/religionandsociety/3/0/3_KJ00006476621/_article/-char/ja/

The Japanese Association for the Study of Religion and Society

<新新宗教>概念の学術的有効性について：井上順孝

そしてこの第6期こそ、新新宗教の台頭する社会的背景とされているのである。

- (11) この点に関しては、新宗教の個別の教団研究はかなり偏っている。新宗教研究は、これまで教団の教学研究とジャーナリストによる紹介に大きく依存してきたことを、あらためて自覚すべきである。新宗教と社会的変化のようなテーマに関しては、数多くある新宗教のうち、社会的影響があったと思われる教団に関しては、研究者がきちんとした資料・データに基づいた議論を積み重ねることが先決である。社会変化に対応させたような新宗教の類型化は、その研究が一定レベルに達したとき、本格的な議論ができるであろう。
- (12) 大本の展開をこうした社会背景と関係づけようとする研究は多い。代表的なものに[大本七十年史編纂会 1964、1967]がある。なお、新宗教の発生時期とされたことはないが、1930年代も新宗教と時代変化のかかわりを考えるときには注目していい時期である。霊友会や創価学会という大教団が出現する時期である。
- (13) 九州大学宗教学研究室が行った調査結果でも、そうした傾向が指摘されている。[坂井他 1995]
- (14) 島蘭は第4期新宗教と呼ぶのと新新宗教と呼ぶのではたいした差ではないと考えているようだが、そうであろうか。第4期というのは、次に第5期、第6期が想定されるもので、社会の変化と新宗教の変化が対応していく部分を、時代ごとに追っていくやり方である。新新宗教となると、それ以前とそれ以後とに明らかに質的な相違を前提していると考えられる。ちなみに島蘭が『新新宗教と宗教ブーム』の中であげている「旧新宗教」の例は次のとおりである。天理教、金光教、大本、霊友会、PL、念法真教、生長の家、創価学会、世界救世教、立正佼成会、天照皇大神宮教、善隣教。また「新新宗教」の例は次のとおりである。エホバの証人、真如苑、大山^〇命神示教会、霊法会、山岸会、阿含宗、霊波光之教会、浄土真宗親鸞会、世界基督教統一神霊協会、世界真光文明教団、崇教真光、自然の泉、ほんぶしん、

Fig. 16 宮本要太郎 (2007). 新宗教教祖伝の生成の一端をめぐって. 関西大学「文学論集」, 第 56 巻第 4 号. p. 13

<https://kansai-u.repo.nii.ac.jp/record/4177/files/KU-1100-20070315-06.pdf>

パターンがあるのか、そこにはどのような力が働いているのか、そしてこれらの力が総合的に働いて教祖伝の成立を促す構造はいかなるものであるのか、などについてさらに解明していきたい。

※本研究は、日本学術振興会の科学研究費（課題番号：18520058）の助成を得たものである。

資料一..新宗教の主な教祖伝

円応教（深田千代子〓教祖）…『教祖伝』

大本（出口なお〓開祖、出口王仁三郎〓聖師）…『おさながたり』『大本七十年史 上・下』

大山^祇命神示教会（供丸斎〓代神、供丸姫〓直使）…『真実への道 光の足跡』『真実への道 光の足跡 完結編』

黒住教（黒住宗忠〓教祖）…『黒住教祖伝』

金光教（金光大神〓教祖）…『金光大神』

松緑神道大和山（大和松風〓教祖）…『松風の翁』

真如苑（伊藤真乗〓開祖、友司〓霊祖）…『真如開祖』『真如霊祖』

崇教真光（岡田光玉〓救い主、恵珠〓2代教え主）…『大聖主 岡田光玉師』

生長の家（谷口雅春〓尊師）…『生命の実相』第19巻・20巻

世界救世教（岡田茂吉〓明主）…『東方之光 上・下』

善隣教（力久辰斎〓御神尊）…『教祖伝 神への道』

天照皇大神宮教（北村サヨ〓大神）…『生書』『大神さま』

新宗教教祖伝の生成の一端をめぐって（宮本）

Fig. 17 寺林脩, 1997, 世俗化と宗教回帰の一考察-戦後日本社会の宗教現象: 大谷学会,
p. 7. <https://otani.repo.nii.ac.jp/records/1203>

7 (寺林)

代表的なものに、「真如苑」、「大山^⑧ 命神示教会」、「阿含宗」、「靈波之光教会」、「統一教会」、「崇教真光」、「自然の泉」、「ほんぶしん」、「幸福の科学」などである。
新新宗教には次のような信仰形態がある。⑨ 呪術的カリスマをもつ教祖や特定の霊能者、また、一般の信者らが、靈交や操靈のテクニクによって靈的メッセージを受けて、病気なおしや憑きもの落としなどの除災招福をもたらしめる。教祖や特定の霊能者、また、ある小道具的靈物をもっている呪力そのものを信奉し、それらに依存して除災招福をもたらしめる。ひたすら自分の精神や念や靈魂の濁りを浄化することによって、心身の健康と日々の幸せを目指すもの。ストレスの多い社会生活からの離脱を、プログラム化されグレード化された瞑想法によって実現し、そこに安らぎを求めるもの。社会生活から隔離された信者たちの信仰共同体の生活の中に、教祖を中心とする宗教的ユートピアの実現を目指すものなどである。

「統一教会」や「エホバの証人」、「オウム真理教」などの、終末論（千年王国主義やメシアニズム）的なファンダメンタリズムを強調するセクト的なものは、日本の新新宗教においては少数派である。多くは、呪術色の濃い神秘主義を標榜するカルト的なものや、旧宗教の教義の一部を取

り入れたセクト的なもの、新宗教的なものである。

⑨ しかし、新新宗教と新宗教の対照性に注目することができ、新宗教が、「貧病争」を入信の動機として心なおしや世なおしを求めた「信念の宗教」であったのに対して、新新宗教は、靈術と身体性を強調する「技巧の宗教」である。新宗教が現世での幸や不幸について、主に現世での「自己責任」を強調するのに対して、新新宗教では「靈魂の輪廻転生やカルマの法則」が強調されている。また、新宗教が切羽詰まって「救済やご利益」を求めたのに対して、新新宗教には好奇心旺盛な「遊び指向」がある。神秘体験の目的化である。また、新宗教が「禁欲的な生活規範」を課したのに対して、新新宗教は「心理的な解放感」を与える。心理療法的な自己開発や自己実現を目指している。また、新宗教の入信者には、親族や姻族などの血縁・地縁の「人間関係の連続性」があったのに対して、新新宗教には好みやフィーリングによる「個人的選択」による入信者が多い。したがって、新新宗教には世俗肯定的な個人の自由参加型と、世俗否定的・教団埋没的な隔離型を両極とする幅広さがあるが、新宗教にはその中間型が多い。

この章では、四つの宗教で現代日本の宗教の重層性を見た。図1では最上層に旧宗教、最下層に古宗教、その中間

Fig. 18 TK01064390. 汎用電子情報交換環境整備プログラム成果報告書別冊 p. 5446.



Fig. 19 The registered name of Ōyamanezunomikoto Shinji Kyōkai on the National Tax Agency

<https://www.houjin-bangou.nta.go.jp/henkorireki-johoto.html?selHouzinNo=6020005000070>

大山祇命神示教会

Fig. 20 An image introducing the correct writing of the character 祇 from the website of Ōyamanezunomikoto Shinji Kyōkai

<https://shinjikyokai.jp/download/nezunoji.html>

■ 「祇」の文字の書き方

正しい表記 「祇」

筆記される際にご留意いただきたいのは、
「祇」の文字のつくりの最後をはねずに、はらいにすることです。

正しくない表記 「祇」

<その他のよくある表記の誤り> 「𠂔」「𠂕」「𠂆」「𠂇」
つくりが右の場合は、誤りです。

Fig. 23 小山田与清 (1908). 松屋筆記 第1. 国書刊行会. p. 236

<https://dl.ndl.go.jp/pid/1087778/1/43>

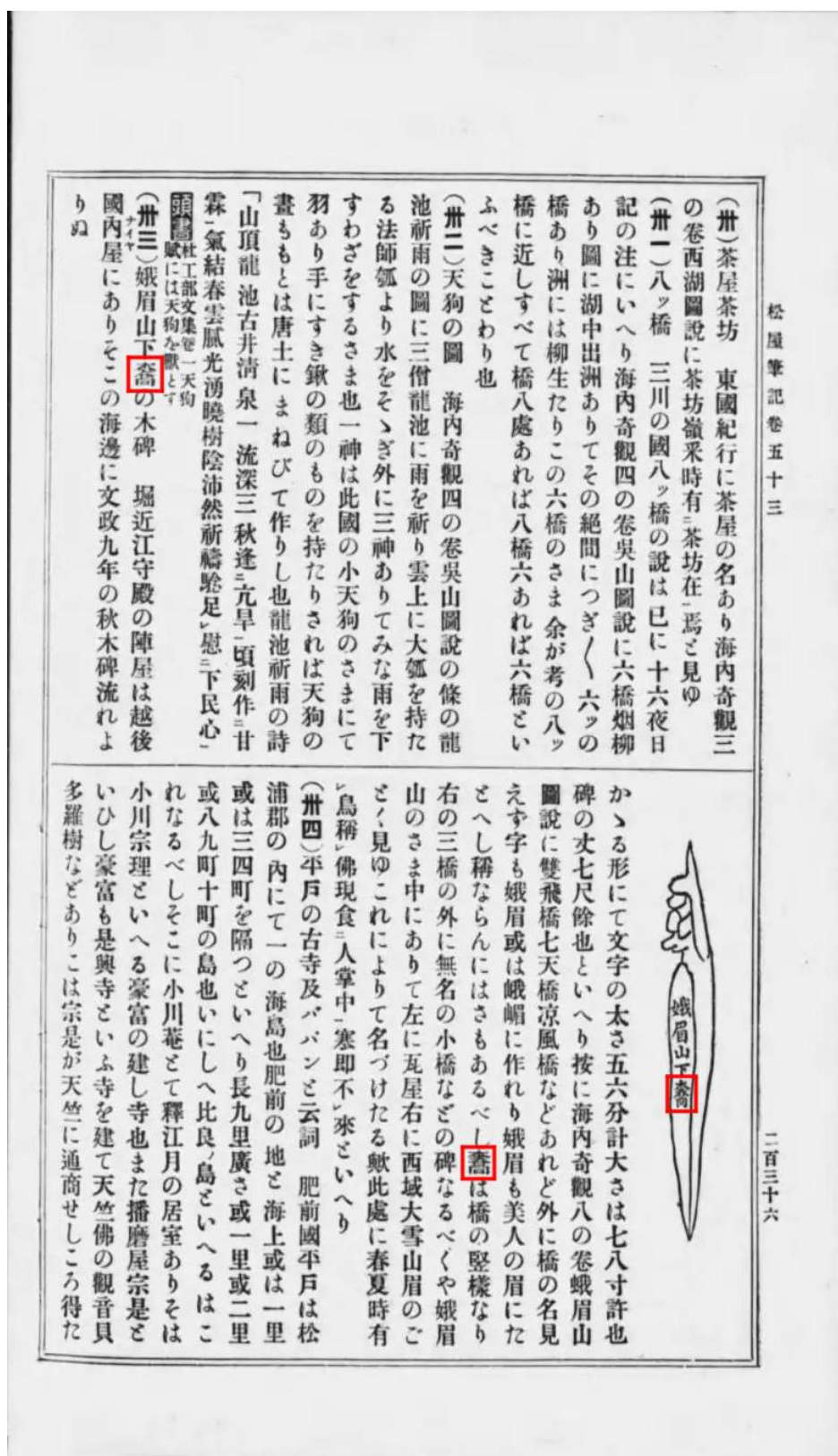


Fig. 24 白柳秀湖 (1947). 日本民族文化史考. 文理書院. p. 57

<https://dl.ndl.go.jp/pid/1041547/1/30>

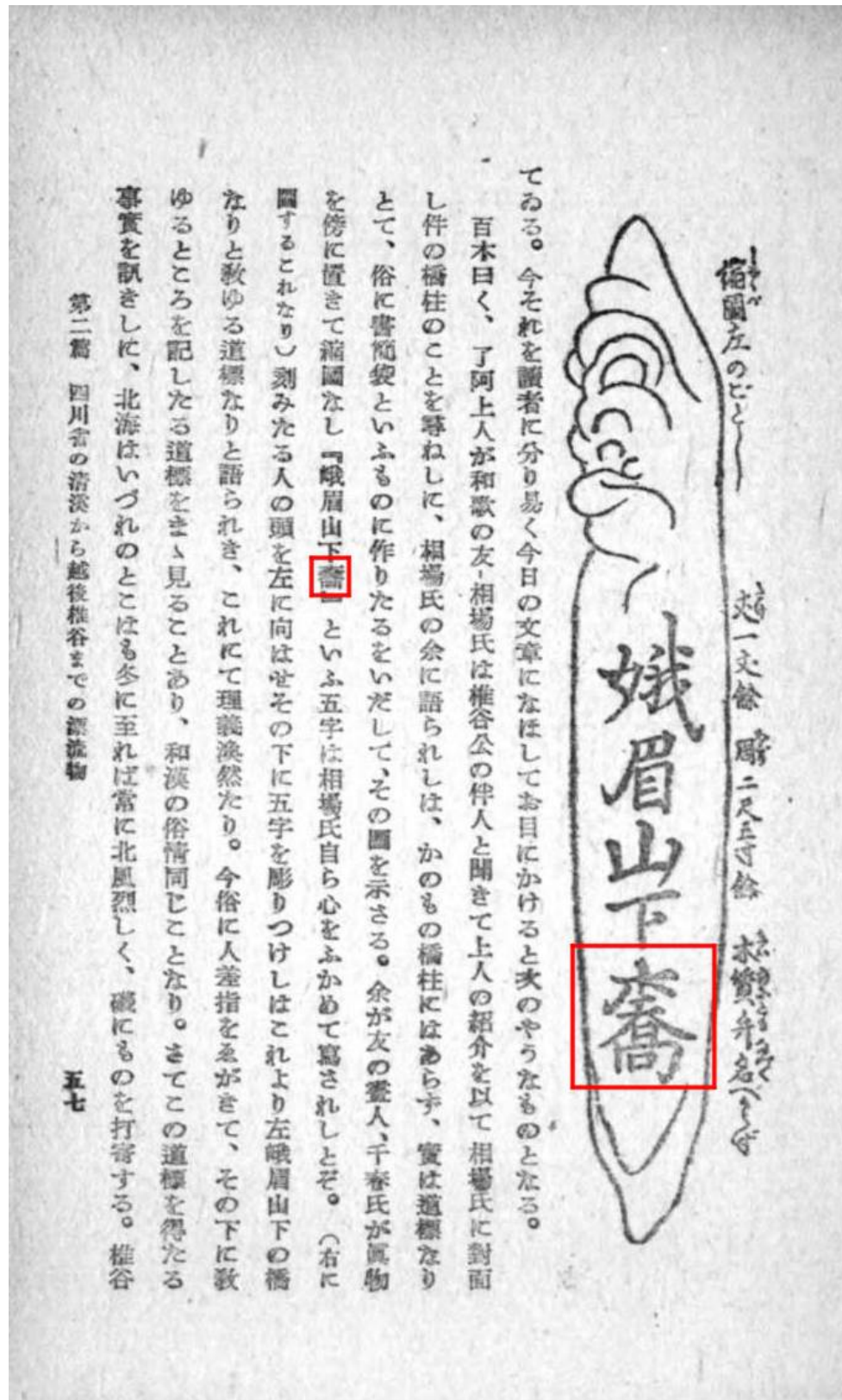


Fig. 25 宮崎幸麿 (1885–1891). 好古小集録. p. 7

<https://dl.ndl.go.jp/pid/849495/1/115>

清刊本よりハ字數甚多し但し後人の増加したるものにて其増加の字
 にハ白字にて今増としるせりかく字數の多きによりて其益も多かり
 されハ清刊本にまされりかくて倭板ハ此朝鮮本を縮寫して翻彫した
 るものなるがその翻彫のとりま誤りたるも間あれば此朝鮮本を以て
 校正せされハ其誤を承くることあり此事ハ觀齋雜攷卷二よくハしく
 するせり娥眉山橋牌文一幅娥眉山橋牌ハ銘に娥眉山下齋の五字あり
 筆力雄偉字畫端謹にして晋唐の人の書の如し橋字齋に作るハ他書未
 た見せいとめづらし但し漢隸に崇を密に作り脰と朗に作り𠂔を𠂔に
 作るがあると同例なりかく偏旁と倒置して作を隸行といふこれ一の
 書法なりかくて其形及び實雖の文あり圖後に出す越後州荻田郡椎谷也者
 大番師近江守堀直哉之封内也文政丁亥夏風雨至矣椎谷土人出海上揚
 流水以欲爲薪因各浮舟而採之其中有丈餘大木將摧時有僧過傍見本上

Fig. 26 物集高見 (1918). 広文庫 第5冊. 広文庫刊行会. p. 417

<https://dl.ndl.go.jp/pid/969099/1/225>

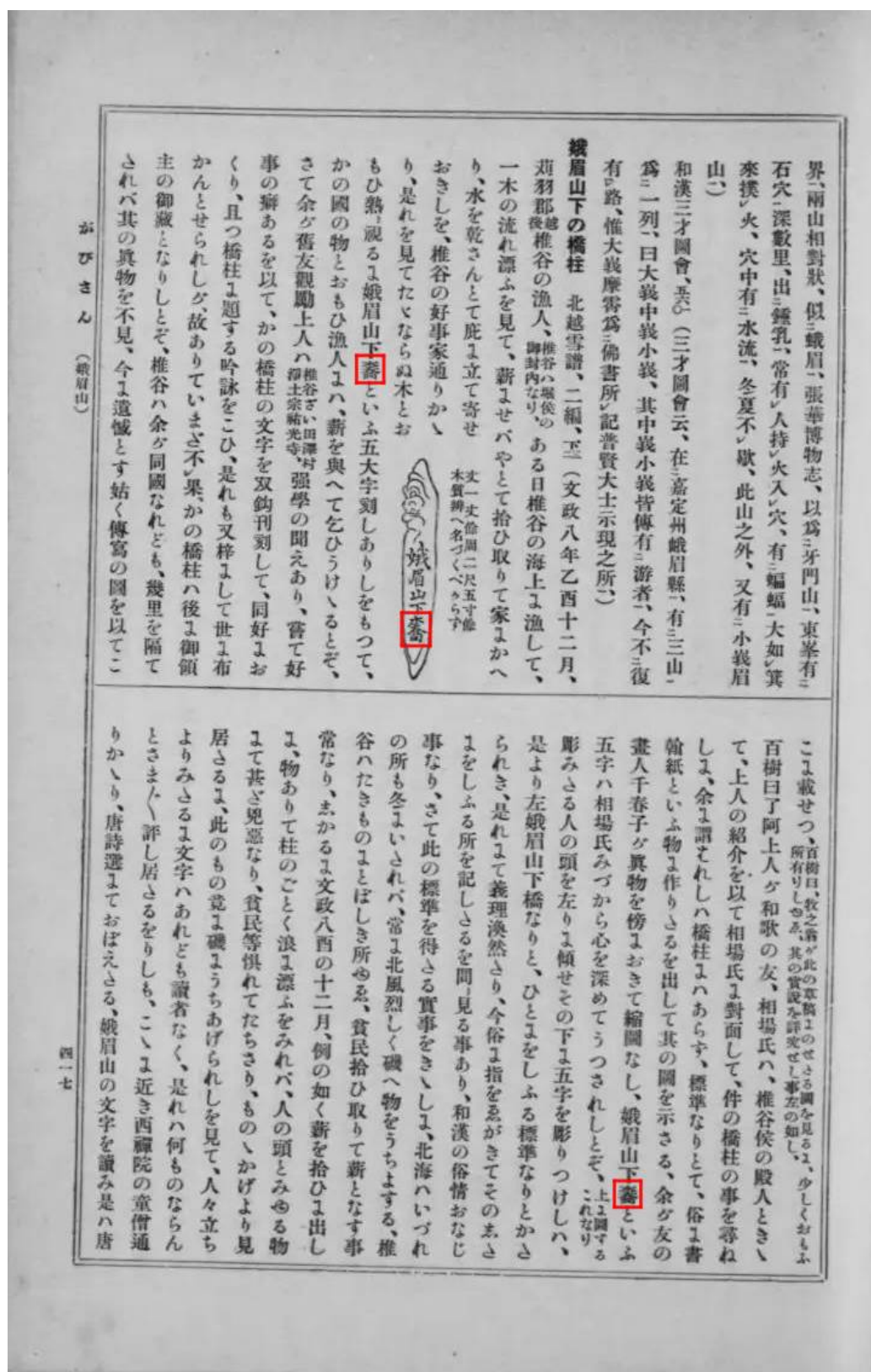


Fig. 27 韓泰植(普光), 娥眉山下橋木柱と韓国の長柱について, 印度學佛教學研究, 1995-1996, 44 卷, 1 号. p. 328.

https://www.jstage.jst.go.jp/article/ibk1952/44/1/44_1_328/_article/-char/ja

印度學佛教學研究第44巻第 1 号 平成 7 年12月

(167)

娥眉山下橋木柱と韓国の長柱について

韓 泰 植 (普光)

今から 5 年前である 1990 年 8 月に日中友好漢詩協会によって良寛の「題娥眉山下橋杭」という詩碑を娥眉山麓に立てることをてがけておられた。この詩は良寛が 68 歳 (1825) の冬, 越後宮川浜に「娥眉山下^ㄱ」という篆刻のある橋杭が漂着したことを聞いて歌ったものである。

ところで, この物は韓国の長柱と同じの形なので, いくつかの疑問点を持つようになった。一つはこの木柱が果して中国産であろうか。二つは韓半島には娥眉山がないのであろうか。三つは中国の娥眉山より新潟まで 6000 キロもあり, 特に黄海を逆流することができるのであろうか。そして, これらの点が解明されるならば, この橋杭とおもわれでたのが, 実は長柱であり, その故郷は韓半島ではなかろうかということである。

さて, これについて 1842 年に鈴木牧之によって編撰された『北越雪譜』2 編巻 4 の「娥眉山下橋柱」(岡田武松校訂・岩波文庫) に記録されている。

文政八年乙酉十二月, 芴羽郡越後椎谷の漁人椎谷は堀候の御封内なりある日椎谷の海上漁して一木の流れ漂ふを見て薪にせばやとて拾ひ取て家にかへり, 水を乾されとて庇に立寄おきしを, 椎谷の好事家通りかかり, 是を見てただならぬ木とおもひ熟視に, 娥眉山下^ㄱといふ五大字刻しありしをもつてかの国の物とおもひ, 漁人には薪を与へて乞ひうけるとぞ。さて余が旧友観励上人は椎谷さい田沢村浄土宗祐光寺強学の聞えあり, 嘗て好事の癖あるを以てかの橋柱の文字を双鉤刊刻して同好におくり且橋柱におくり且橋柱に題する吟詠をこひ, 是も又梓にして世に布んとせられしが, 故ありていまた不果。かの橋柱は後に御領主の御蔵となりしとぞ。椎谷は余が同国なれども幾里を隔たれば其真物を不見, 今に遺憾とす。姑伝写の図を以てここに載つ。

と記して「娥眉山下橋柱」の拾得過程とその後の移転について述べている。文政 8 年 (1825) に日本の新潟椎谷の浜で漁夫によって発見された橋柱はただ薪木のものであったが, 識者の目に見つけて珍貴なものになったのである。特に識者達の関心事はそこに刻っている「娥眉山下^ㄱ」という五大字である。これは当時の日本知識層の中では広く知られている中国の娥眉山と聯想することができたの

Fig. 28 The photo of 峨眉山下橋杭

https://ryoukan-w.info/?page_id=84



Fig. 29 ファミ通 1999 年 1 月 22 日号 p. 143



Fig. 30 電撃 PlayStation D16 p.30



Fig. 31 ファミ通 WAVE Vol.10 1999 年 5 月号 p.49



Fig. 32 國務院法制処 (1943). 滿洲國法令輯覽 第9卷, 第十二章 度量衡. 滿洲行政学会.
p. 3. <https://dl.ndl.go.jp/pid/1449641/1/1261>

		第三條 尺爲純水冰當融解之溫度時在國際米突原器所示長度 三分之一		第三條 尺ハ融解シツアル純粋ノ水ノ氷ノ溫度ニ於ケル國際メートル原器ノ示ス所ノ長ノ三分ノ一トス	
		畝爲九千平方尺平方尺爲尺之平方面積 升爲二十七立方寸立方寸爲寸之立方體積 斤爲國際啓羅克爾姆原器質量二分之一		畝ハ九千平方尺トシ平方尺ハ尺ノ平方ノ面積トス 升ハ二十七立方寸トシ立方寸ハ寸ノ立方ノ體積トス 斤ハ國際キログラム原器ノ質量ノ二分ノ一トス	
第四條 米突法係指以左列單位標示度量衡者而言		第四條 メートル法トハ左ニ掲グル單位ヲ以テ度量衡ヲ表示スルモノヲ謂フ			
一、度		一、度		一、度	
長		長		長	
(密克龍)		(密克龍)		(ミクロン)	
(密理米突)		(密理米突)		(ミリメートル)	
(生的米突)		(生的米突)		(センチメートル)	
(特西米突)		(特西米突)		(デシメートル)	
(米 突)		(米 突)		(メートル)	
(啓羅米突)		(啓羅米突)		(キロメートル)	
(一公里)		(一公里)		(千米)	
(一千八百五十二米)		(一千八百五十二米)		(千八百五十二米)	
海 里		海 里		海 里	
產 業 第十二章 度量衡		產 業 第十二章 度量衡		三	

Fig. 33 郁文社 (1938). 満洲帝国六法全書, 諸法. p. 86

<https://dl.ndl.go.jp/pid/1275775/1/403>

第三條 尺ハ融解シツツアル純粋ノ水ノ氷ノ溫度ニ於ケル國際メートル原器ノ示ス所ノ長ノ三分ノ一トス 歟ハ九千平方尺トシ平方尺ハ尺ノ平方ノ面積トス 升ハ二十七立方寸トシ立方寸ハ寸ノ立方ノ體積トス 斤ハ國際キログラム原器ノ質量ノ二分ノ一トス 第四條 メートル法トハ左ニ掲グル單位ヲ以テ度量衡ヲ表示スルモノヲ謂フ		其他 度量衡法
第一度 長 米 (ミクロン) (米ノ百萬分ノ一) 厘 (ミリメートル) (米ノ千分ノ一) 分 (センチメートル) (米ノ百分ノ一) 秒 (デシメートル) (米ノ十分ノ一) 海里 (キロメートル) (千米) 平方海里 (平方キロメートル) (平方米ノ百萬分ノ一)	第三條 尺ハ融解シツツアル純粋ノ水ノ氷ノ溫度ニ於ケル國際メートル原器ノ示ス所ノ長ノ三分ノ一トス 歟ハ九千平方尺トシ平方尺ハ尺ノ平方ノ面積トス 升ハ二十七立方寸トシ立方寸ハ寸ノ立方ノ體積トス 斤ハ國際キログラム原器ノ質量ノ二分ノ一トス 第四條 メートル法トハ左ニ掲グル單位ヲ以テ度量衡ヲ表示スルモノヲ謂フ	
第一度 長 米 (密克龍) (米ノ百萬分ノ一) 厘 (密理米突) (米ノ千分ノ一) 分 (生的米突) (米ノ百分ノ一) 秒 (特西米突) (米ノ十分ノ一) 海里 (啓羅米突) (千米) 平方海里 (平方密理米突) (平方米ノ百萬分ノ一) 平方厘 (平方生的米突) (平方米ノ萬分ノ一) 平方分 (平方特西米突) (平方米ノ百分ノ一) 平方秒 (平方啓羅米突) (平方米ノ百分ノ一) 平方海里 (平方啓羅米突) (平方米ノ百萬分ノ一)	第三條 尺ハ融解シツツアル純粋ノ水ノ氷ノ溫度ニ於ケル國際メートル原器ノ示ス所ノ長ノ三分ノ一トス 歟ハ九千平方尺トシ平方尺ハ尺ノ平方ノ面積トス 升ハ二十七立方寸トシ立方寸ハ寸ノ立方ノ體積トス 斤ハ國際キログラム原器ノ質量ノ二分ノ一トス 第四條 メートル法トハ左ニ掲グル單位ヲ以テ度量衡ヲ表示スルモノヲ謂フ	八六

Fig. 35 滿州国統計処 (1935). 統計上の滿洲帝国. 國務院總務庁情報処. p. 28

<https://dl.ndl.go.jp/pid/1908642/1/16>

滿洲帝國權度量尺															
度 量 衡 表															
區分	尺 斤 法			米 突 法			區分	尺 斤 法			米 突 法				
	名稱	命 位		名稱	命 位	尺斤法		名稱	命 位		名稱	命 位	尺斤法		
長	毫	0.0001尺	0.0333寸	1.041667毫	密克龍	0.000001米	0.03毫	撮	0.001升	1 匙	0.096574公升	立方厘米	27立方分		
	厘	0.001尺	0.3333分	1.041667厘	密理米突	0.001米	3 釐	勺	0.01升	10 匙	0.965746公升	立方分	27立方寸		
	分	0.01尺	0.3333釐	1.041667分	厘	0.01米	3 分	合	0.1升	1 升	0.965746公升	立方寸	27立方尺		
	寸	0.1尺	0.3333毫	1.041667寸	粉特西米突	0.1米	3 寸	升單位(27立方寸)	1 立	0.965746升	升(密理立脫爾)	0.001 立	0.001 升		
	尺	1尺	0.3333毫	1.041667尺	米 (米突)	單 位	3 尺	斗	10 升	10 立	0.965746斗	升(特西立脫爾)	0.1 立	0.1 升	
度	丈	10 尺	3.3333 米	1.041667丈	呎(密理米突)	1000米	2 里	石	100 升	1 鎰	0.965746石	立(立脫爾)	1 立	1 升	
	引	100 尺	33.333 米	1.041667引	海里	1852米	3.704里	但容量得以長度之立方名稱表示之							
	里	1500 尺	0.5 許	0.868066里	但海里限於表示海面長度時用之										
面	弓	25平方尺	0.02777阿	4.521123毫	平方呎	0.000001平方呎	9 平方釐	但容量得以長度之立方名稱表示之							
	毫	0.001畝	0.01 阿	1.627604毫	平方釐	0.0001平方釐	9 平方分								
	釐	0.01畝	0.1 阿	1.627604釐	平方分	0.01平方分	9 平方寸	但容量得以長度之立方名稱表示之							
	分	0.1畝	1 阿	1.627604分	平方寸	單 位	9 平方尺								
	畝	10000平方尺	1 阿	1.627604畝	平方呎	100000平方呎	4 平方里	但容量得以長度之立方名稱表示之							
積	天	10 畝	1 阿	16.27604畝	阿(阿爾)	100平方米	0.1 畝								但容量得以長度之立方名稱表示之
	頃	100 畝	10 阿	162.7604畝	頃	100 平方里	1 天	但容量得以長度之立方名稱表示之							
	但面積得以長度之平方名稱表示之														但阿及頃限於表示土地或水面之面積時用之
cm(釐)												28			

Fig. 36 滿洲中央銀行調査課 (1934). 經濟金融概況: 日文 第 17 號. p.95

<https://dl.ndl.go.jp/pid/1917259/1/67>

三										二																	
錢	分	釐	毫	絲	衡	第一號ニ掲グル長ノ單位ノ立方	石	斗	升	合	勺	撮	量	本號ニ掲グル長ノ單位ノ平方	頃	天	畝	分	釐	毫	弓	里	引	丈	尺	寸	分
(斤ノ百分ノ一)	(斤ノ千分ノ一)	(斤ノ一萬分ノ一)	(斤ノ十萬分ノ一)	(斤ノ百萬分ノ一)			(十 升)	(百 升)	(升ノ百分ノ一)	(升ノ千分ノ一)	(升ノ百分ノ一)	(升ノ千分ノ一)		(十 畝)	(百 畝)	(畝ノ百分ノ一)	(畝ノ千分ノ一)	(畝ノ百分ノ一)	(畝ノ千分ノ一)	(二十五平方尺)	(千五百尺)	(百 尺)	(十 尺)	(尺ノ百分ノ一)	(尺ノ十分ノ一)		
二										一																	
立方糶	量	陌	阿	平方糶	平方糶	平方糶	平方糶	平方糶	平方糶	平方糶	海	糶	粉	糶	糶	長	度	第四條									
(立方センチメートル)		(ヘクタール)	(アール)	(平方キロメートル)	(平方メートル)	(平方デシメートル)	(平方センチメートル)	(平方ミリメートル)			面	糶	(キロメートル)	(メートル)	(デシメートル)	(センチメートル)	(ミリメートル)	第三條									
(立方センチメートル)		(一萬平方米)	(百平方米)	(百萬平方米)	(平方メートル)	(平方デシメートル)	(平方センチメートル)	(平方ミリメートル)					(米ノ十分ノ一)	(米ノ百分ノ一)	(米ノ千分ノ一)	(米ノ百萬分ノ一)		尺ハ融解シツアル純粹ノ水ノ氷ノ溫度ニ於ケル國際メートル原器ノ示ス所ノ長ノ三分ノ一トス									
																		畝ハ九千平方尺トシ平方寸ハ寸ノ平方ノ面積トス									
																		升ハ二十七立方寸トシ立方寸ハ寸ノ立方ノ面積トス									
																		斤ハ國際キログラム原器ノ質量ノ二分ノ一トス									
																		メートル法トハ左ニ掲グル單位ヲ以テ度量衡ヲ表示スルモノヲ謂フ									

— (95) —

Fig. 38 實業部總務司 (1934). 實業部月刊 第二期 第一號. 實業部總務司. p. 92

https://commons.wikimedia.org/w/index.php?title=File%3ANLC511-023031103090317-55074_%E5%AF%A6%E6%A5%AD%E9%83%A8%E6%9C%88%E5%88%8A_%E7%AC%AC1%E5%8D%B7.pdf&page=112

第四條 米突法係指以左列單位標示度量衡者而言		長度	一 度
麵	(密理克龍)	(米之百萬分之一)	
耗	(密理米突)	(米之千分之一)	
糧	(生的米突)	(米之百分之一)	
粉	(特西米突)	(米之十分之一)	
米	(米 突)		
籽	(啓羅米突)	(一千米)	
海里		(一千八百五十二米)	
面積			
平方耗(平方密理米突)		(平方米之百萬分之一)	
平方糧(平方生的米突)		(平方米之萬分之一)	
平方粉(平方特西米突)		(平方米之百分之一)	
平方米(平方米突)			
平方籽(平方啓羅米突)		(一百萬平方米)	
阿	(阿爾)	(一百平方米)	
陌	(海克脫阿爾)	(一萬平方米)	
二 量			
立方糧(立方生的米突)		(立方米之百萬分之一)	
立方粉(立方特西米突)		(立方米之千分之一)	
立方米(立方米突)			
耗	(密理立脫爾)	(立之千分之一)	
鈞	(特西立脫爾)	(立方米之千分之一)	
立	(立脫爾)		
碩	(海克脫立脫爾)	(一百立)	
秆	(啓羅立脫爾)	(一千立)	
噸		(一千立方米之三百五十三分之一)	
三 衡			
貳	(密理克蘭姆)	(貳之百萬分之一)	
瓦	(克蘭姆)	(貳之千分之一)	
貳	(啓羅克蘭姆)	(千貳)	
噸	(噸)	(千貳)	
噸		(貳之五十分之一)	
第五條			
米爲純水冰當融解之溫度時在國際米突原器所示之長度			
平方米爲米之平方面積			
立方米爲米之立方體積			
立爲立方粉			
第六條			
貳爲國際啓羅克蘭姆原器之質量			
海里標示水面之長度、阿及陌標示土地或水面之面積、			
耗、鈞、立、碩及秆標示液體氣體粒狀物之量、噸標示			
船舶之積量、噸標示寶石之重量其外不得用之			
第七條			
米依米突原器貳依啓羅克蘭姆原器現示之			
前項原器由實業部總長製造保管之			
第八條			
本法所稱度量衡器係指以使用於度量衡計量之目的而製			
造之器物而言			

Fig. 39 國務院總務廳秘書處 (1934). 滿洲國政府公報 第三百十九號. 國務院總務廳. p. 3
https://commons.wikimedia.org/w/index.php?title=File%3ANLC511-023031103090002-57687_%E6%BB%BF%E6%B4%B2%E5%9C%8B%E6%94%BF%E5%BA%9C%E5%85%AC%E5%A0%B1_%E7%AC%AC113%E5%8D%B7.pdf&page=5

中華民國政府公報 第三十九號 大同三年一月二十五日 星期四

磅 (一百斤)

第三條 尺爲純水冰當融解之溫度時在國際米突源器所示長度三分之一
 畝爲九千平方尺平方尺爲尺之平方面積
 升爲二十七立方寸立方寸爲寸之立方體積

。斤爲國際磅克爾原器質量二分之一

第四條 米突法係指以左列單位標示度量衡者而言

一度

長度

噸

(密克爾)

(米之百萬分之一)

耗

(密理米突)

(米之千分之一)

極

(生的米突)

(米之百分之一)

粉

(特西米突)

(米之十分之一)

米

(米 突)

料

(啓羅米突)

(一千米)

海里

(一千八百五十二米)

面積

平方耗

(平方密理米突)

(平方米之百萬分之一)

平方極

(平方生的米突)

(平方米之萬分之一)

平方粉

(平方特西米突)

(平方米之百分之一)

平方米

(平方米突)

平方料

(平方啓羅米突)

(一百萬平方米)

阿

(阿 爾)

(一百平方米)

陌

(派克脫阿爾)

(一萬平方米)

重量

立方極 (立方生的米突)

(立方米之百萬分之一)

立方粉 (立方特西米突)

(立方米之千分之一)

立方米 (立方米突)

耗 (密理立耗爾)

(立之千分之一)

粉 (特西立粉爾)

(立之十分之一)

立 (立脫爾)

(一百立)

耗 (派克脫立耗爾)

(一千立)

料 (啓羅立料爾)

(一千立方米之三百五十三分之一)

三衡

聽 (密理克爾姆)

(耗之百萬分之一)

瓦 (克爾姆)

(耗之千分之一)

耗 (啓羅克爾姆)

(千 耗)

噸 (噸)

(耗之五十分之一)

噸

(噸之五十分之一)

噸

(噸之五十分之一)

噸

(噸之五十分之一)

噸

(噸之五十分之一)

噸

(噸之五十分之一)

噸

(噸之五十分之一)

噸

(噸之五十分之一)

噸

(噸之五十分之一)

噸

(噸之五十分之一)

噸

(噸之五十分之一)

噸

(噸之五十分之一)

三

Fig. 41 滿洲國外交部通商 (1935). 國際通商時報 第二十六號. 滿洲國外交部通商. p. 2
https://commons.wikimedia.org/w/index.php?title=File%3ANLC511-023031103090357-57199_%E5%9C%8B%E9%9A%9B%E9%80%9A%E5%95%86%E6%99%82%E5%A0%B1_%E7%AC%AC18%E5%8D%B7.pdf&page=8

與簽字同時即承繼一切之權利、

○新制度量衡表及比較表

我國自建國以來、鑑於度量衡之統一、爲國家重大事業、爰於康德元年五月令權度局制定度量衡法公布實施、迄今已有年餘、茲將新制度量衡表及比較表揭載於左、以供施政上之參考、

度量衡表

名稱	單位	米突法	營造庫平制
尺	斤	法	
長	度		
毫	0.0001 尺	0.0001 米	1.001 大分毫
釐	0.001 尺	0.001 米	1.001 大分釐
分	0.01 尺	0.01 米	1.01 大分分
寸	0.1 尺	0.1 米	1.01 大分寸
尺	單 位	0.1 米	1.01 大分尺
丈	10 尺	1.0 米	1.01 大分丈
引	100 尺	10.0 米	1.01 大分引
里	1000 尺	100.0 米	0.001 大分里

米突法

名稱 單位

微 (密克龍) 0.000001 米

耗 (密理米突) 0.001 米

厘 (生的米突) 0.01 米

粉 (特西米突) 0.1 米

米 (米 突) 單 位

斤 (啓羅米突) 1000 米

海里 1.85 米

尺 斤 法

0.001 毫

0.01 釐

0.1 分

1 寸

10 尺

100 里

但海里限於表示海面長度時用之

面積

名稱 單位

毫 0.001 平方尺 0.001 平方分之二阿

釐 0.01 平方尺 0.01 平方分之二阿

分 0.1 平方尺 0.1 平方分之二阿

畝 單位 0.0001 平方尺 0.0001 平方分之二阿

天 10 畝 10 畝

頃 100 畝 100 畝

但面積得以長度之平方名稱表示之

營造庫平制

0.001 毫

0.01 釐

0.1 分

1 寸

10 尺

100 里

Fig. 42 笹原宏之 (1994). メートル法単位を表す国字の製作と展開. 国文学研究, (114).

p. 111 https://waseda.repo.nii.ac.jp/record/4833/files/KokubungakuKenkyu_114_Sasahara.pdf

「屯」を「𪛗」と改めた「權度(度量衡)法」が1934年に公布された(『滿洲國政府公報』1934・1・25, 『滿洲國法令輯覽』(1934・38九版))。

𪛗	耗	糧	粉	米	𪛗
𪛗	𪛗	𪛗	立	𪛗	𪛗
𪛗		瓦		𪛗	𪛗
		阿		𪛗	

日本と違えようとしたのかアールが中国音でより近い「阿」と訳された。「𪛗」は古来の漢字と暗合した。さらに、「^{ミクロン}μ」に対して小数の位「微」を用いて「𪛗」が新造された。中国では後に「微米」も使われる。「度量衡法施行規則」(1934)に「耗」, 「實業部令」(1934)等に「耗」「粉」「糧」「米」, 「𪛗」「𪛗」「立」, 「𪛗」「瓦」「𪛗」(kWには啓羅瓦特)を使う。中央気象台の報告に「耗」が使われるが, 「公里」「公尺」, 「公噸」も経済統計に用いられているように揺れがあった。『滿洲國地名大辭典』(1937)は「𪛗」を「𪛗」に作り, 「𪛗」がない一覧表を載せる。

(3)朝鮮・韓国

①日本からの輸入

「度量衡法」(『官報』1905・3・29等)には^(ミリメートル)「美利米突」^(センチリットル)「先知翹突」^(キログラム)「岐路久覽」等の音訳表記が参考として示されている。4年後の改訂(『官報』1909・9・21等)で日本の「㌢」等を採用したが, 『皇城新聞』(1909・9・18)等においてはなお「基路米突」やハングル表記が使われる。

しかし辞書では, 『新字典』(1915)の「新字新義部」に「耗」~「米」~「𪛗」, 「𪛗」~「𪛗」~「𪛗」, 「𪛗」~「𪛗」や「日本」の「𪛗」~「瓦」~「𪛗」が載った。「日本俗字部」でないが, 新しい日本製漢字という意識がなかったとはいえない。日本は占領に伴い1926年に「朝鮮度量衡令施行細則」(『朝鮮法令輯覽』(1938)等)を公布し, 日本や植民地下の台湾と同じ「略字」の「耗」「糧」「米」「𪛗」, 「𪛗」「𪛗」「立」「𪛗」「𪛗」, 「𪛗」「瓦」「𪛗」「𪛗」を定めた。『朝鮮總督府施政年報』(1935)に「𪛗」, 「朝鮮總督府告示」(1936)等に「耗」「糧」, 「𪛗」「𪛗」, 「𪛗」「𪛗」が使われ, 『鮮譯國語大辭典』(1933)には朝鮮語として「米」(キロメートルは「岐露米突」), 『朝鮮語辭典』(1943. 曹喜澈氏教示)に「耗」等が載る。

②定着への歩み

第二次世界大戦後も, 大韓民国では例えば『漢韓辭典』(1948・9四版)に「新字」として「耗」~「𪛗」, 「𪛗」, 「𪛗」~「𪛗」「𪛗」が載せられ, 草書を示す例もある。『明文新玉篇』(1950・57一版)は日本製と明示し「耗」~「𪛗」, 「𪛗」~「𪛗」, 「𪛗」~「𪛗」「𪛗」に, 『新字源』(1951・5三版)は「譯字」として「耗」~「𪛗」「𪛗」, 「𪛗」~「𪛗」に, 類推音を付して載せる。『學生漢韓字典』(1955)は「耗」(毫の音とする)~「𪛗」のみを採るが, 『大漢韓辭典』(1964)は「𪛗」(中国音を shih² とする)のほか, 「日字」でなく「新字」として「耗」~「𪛗」, 「𪛗」~「𪛗」~「𪛗」, 「𪛗」~「𪛗」「𪛗」, 中国の「𪛗」~「𪛗」を収めるように, 創作やアール等はないが字

Fig. 43 笹原宏之 (1994). メートル法単位を表す国字の漢字圏各国における衰退. 国語学研究と資料, 18(18). p. 8.

https://waseda.repo.nii.ac.jp/record/2775/files/KokugogakuKenkyuToSiryo_18_Sasahara.pdf

れたが、「𪛗」もなくなるだろうと述べている。

『新部首大字典』(1988)においては「𪛗」に「現在只用千米」、「𪛗」に「略号」、「𪛗」「𪛗」「𪛗」「𪛗」「𪛗」に「旧日」、「废除」、「𪛗」「𪛗」「𪛗」〜「𪛗」、「𪛗」〜「𪛗」に「符号」とあり、『漢語大字典』(1988)に「𪛗」「𪛗」「𪛗」に「旧」等が載るように、字種と注記はなおも一定していない。

1984年の国务院「中華人民共和國法定計量單位」により、現在では「千克」または「公斤」または「kg」、「分升」または「dl」、「毫米」または「mm」となっている。ヘクタールは一般に「公頃」のように書いている。国家規格である「GB規格」(1980〜)には「𪛗」だけが登録された。

(2) 中華民国(台湾)等

1945年に第二次世界大戦が終結すると、日本の植民地は解放された。満州は、法令により「𪛗」「𪛗」の類を使用するように定められていたが⁽¹⁾、効力を失った。

やはり法規で日本と同じ「𪛗」の類を公布されていた台湾も、日本の桎梏から抜け出した。1949年に中華民国が建国した後、1954年の「度量衡法」により「公里」、「公撮」、「公毫」、「公頃」等が定められた。

従来の国字が使用される範囲は狭くなっていくようだが、辞書類には保守性があるため、従前の字種を載せ続けるものがある。『中文大辭典』(1962〜8)は『國語大詞典』を引いて「𪛗」(「音厘」。「𪛗」とも誤る)、「略字」の「𪛗」を載せる。『正中形音義綜合大字典』(1971)は「𪛗」〜「𪛗」、「𪛗」〜「𪛗」、「𪛗」〜「𪛗」、「𪛗」、「𪛗」〜「𪛗」「𪛗」〜「𪛗」「𪛗」(列火を「大」に作る)を収めるほか、本文でも「一平方𪛗」、「每秒一〇二𪛗 𪛗」と使う。『辭源』や『辭海』を引き、二音を示すものもある。『大學字典』(1973・87二版)は、『國語辭典』を引き「略記」「𪛗」を載せるが、「舊略記」と判断する。台湾は日本の影響が大陸よりも強く残っているようで、『現代閩南語辭典』(1981)に「𪛗」(^(グラム)oá)が載っている。『國臺音新字典』は「𪛗」に「日本字」とあり、出自を示す。まったく廃れたわけではなく、教育部『次常用國字標準字體表』(1982)には「𪛗」、「𪛗」、「𪛗」〜「𪛗」、『臺語大字典』(1992)にも「𪛗」「𪛗」「𪛗」、「𪛗」・「𪛗」、「𪛗」「𪛗」(音はwā)「𪛗」、「𪛗」等が入った。「CNS規格」(1986)には「𪛗」〜「𪛗」「𪛗」「𪛗」「𪛗」「𪛗」「𪛗」「𪛗」、「𪛗」〜「𪛗」「𪛗」、「𪛗」、「𪛗」〜「𪛗」が揃っている。

イギリス領の香港では、辞書では『國音小字典』(1963)に「𪛗」「𪛗」、「𪛗」、

Fig. 44 詞林三知抄 下 (宮内庁書陵部所蔵). fol. 2b

<https://kokusho.nijl.ac.jp/biblio/100232016/37>

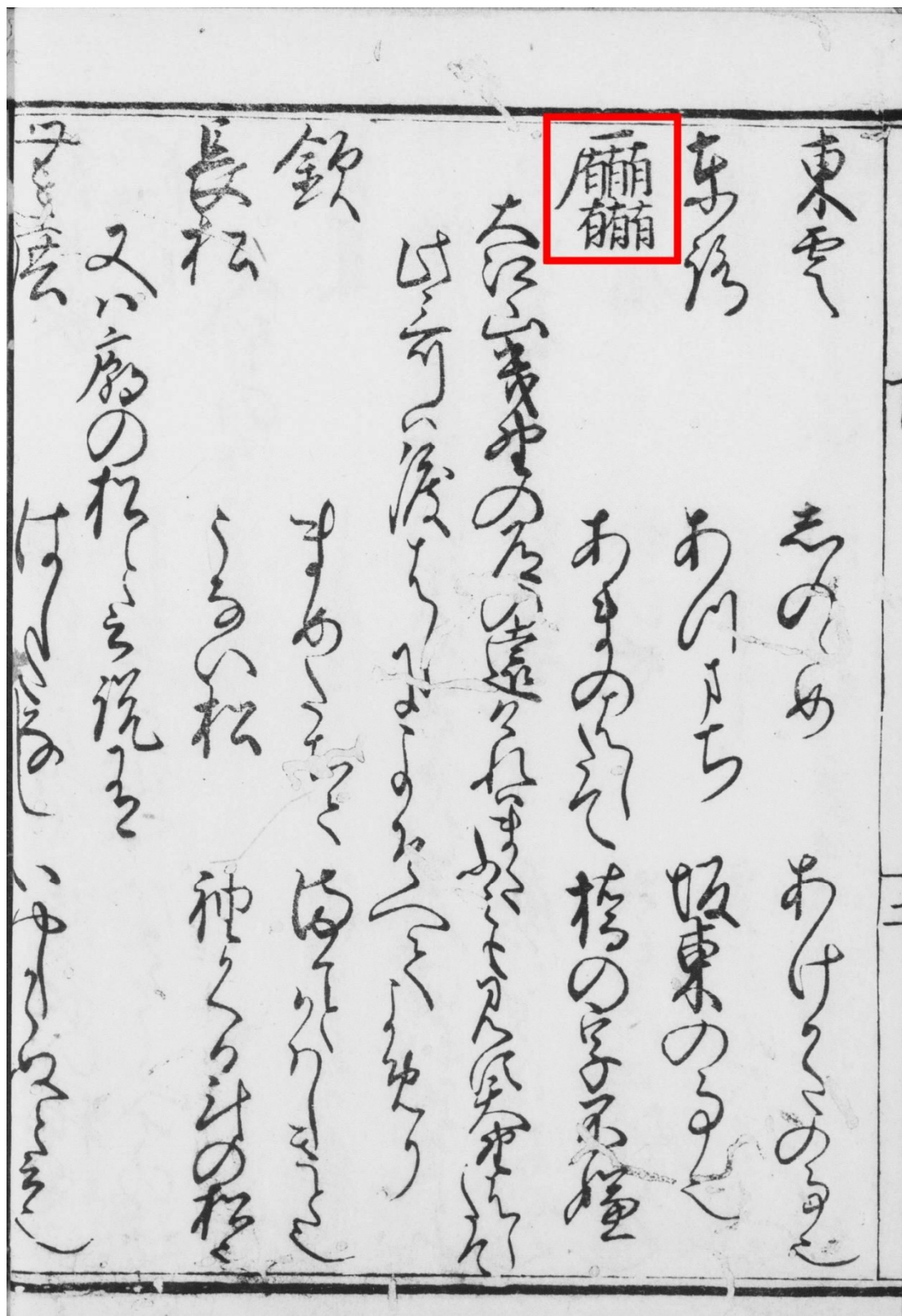


Fig. 45 『詞林三知抄』 (新潟大学附属図書館所蔵)

<https://kokusho.nijl.ac.jp/biblio/100276827/27>

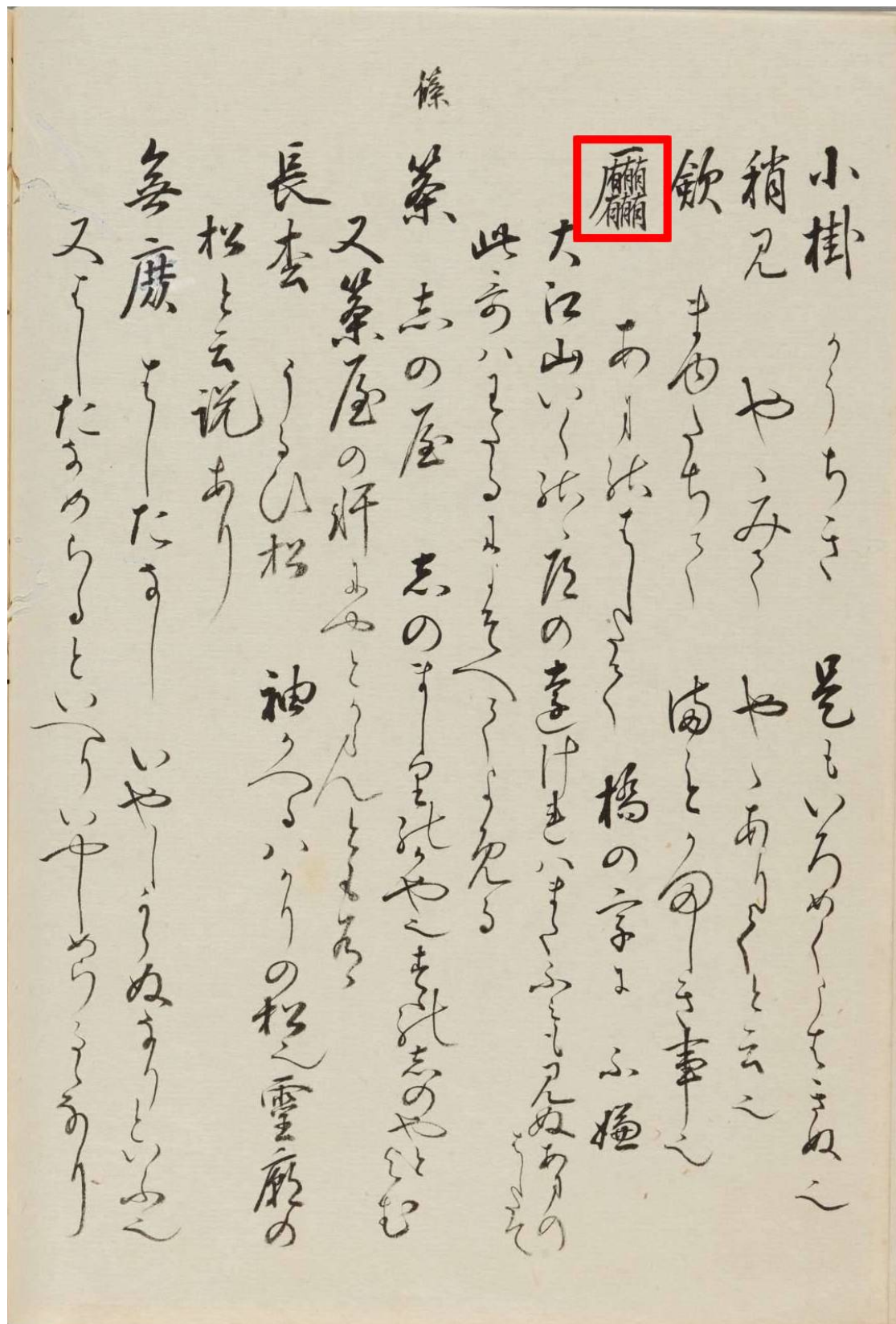


Fig. 46 詞林三知抄 (伊地知鐵男文庫)

https://archive.wul.waseda.ac.jp/kosho/bunko20/bunko20_00222/bunko20_00222_p0037.jpg

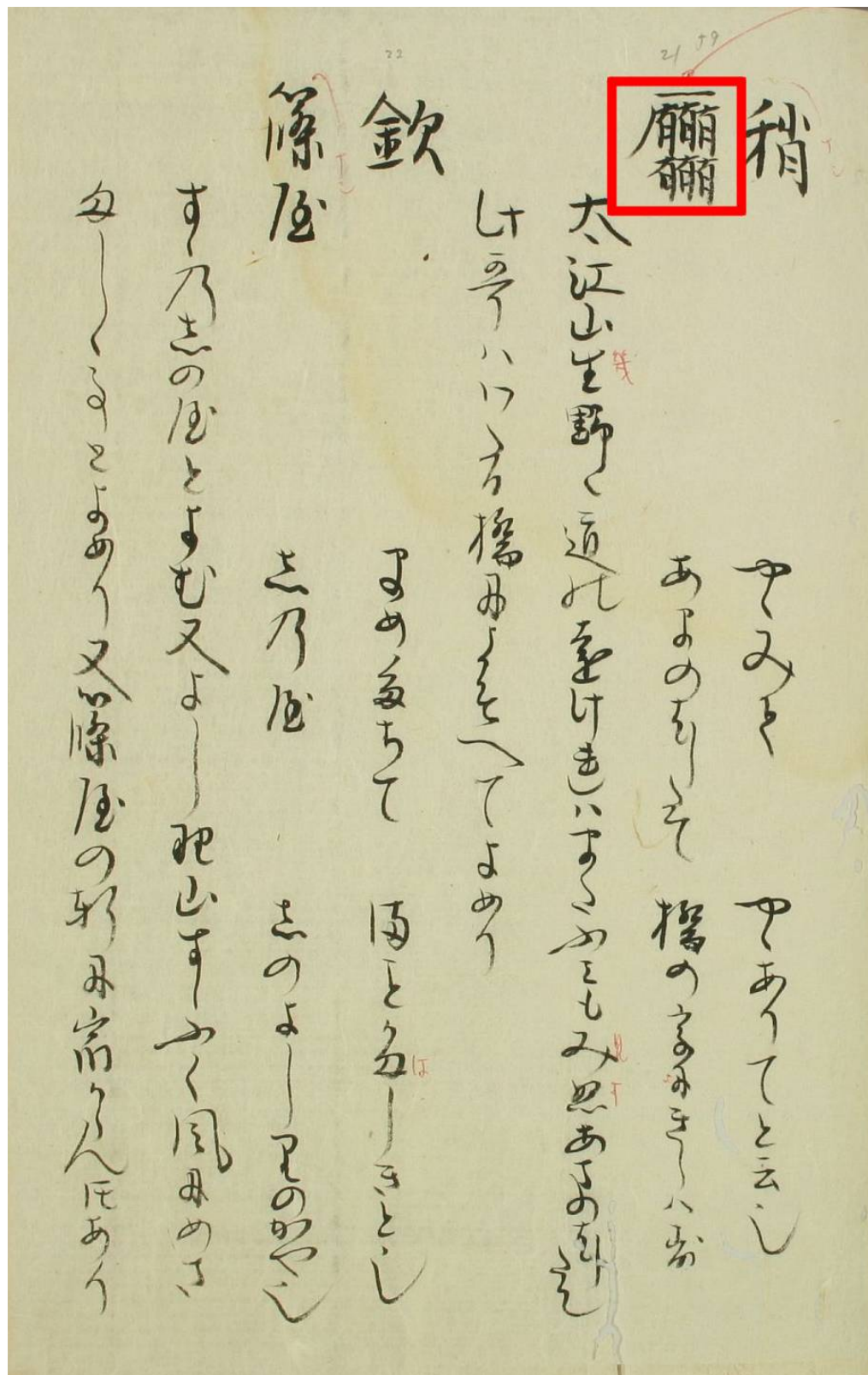


Fig. 47 詞林三知抄 坤 (伝一条兼良撰)

https://archive.wul.waseda.ac.jp/kosho/he05/he05_02204/he05_02204_p0036.jpg

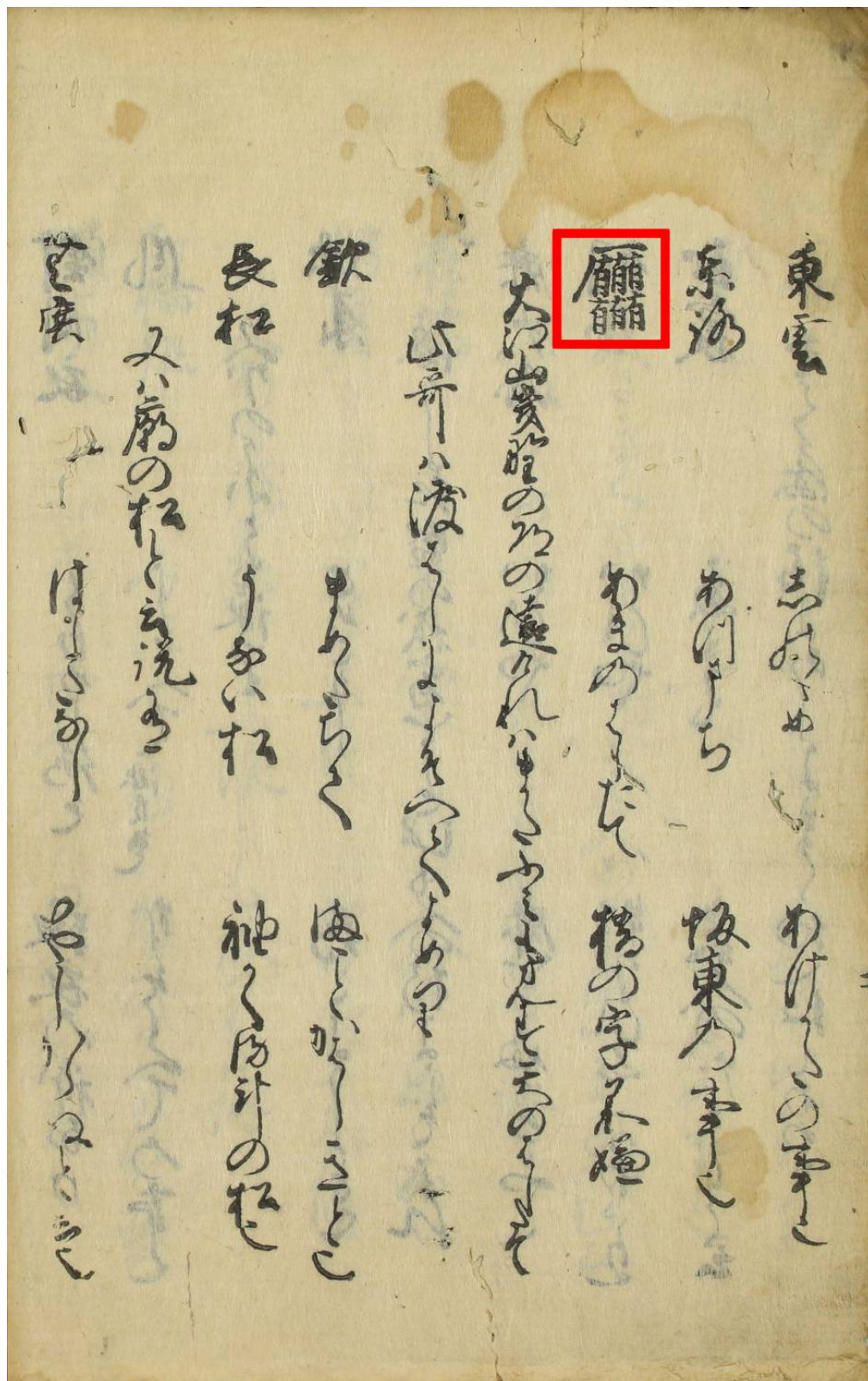


Fig. 48 不角 (1705). 水馴棹 卷四. fol. 13b

<https://dl.ndl.go.jp/pid/2568011/1/15>

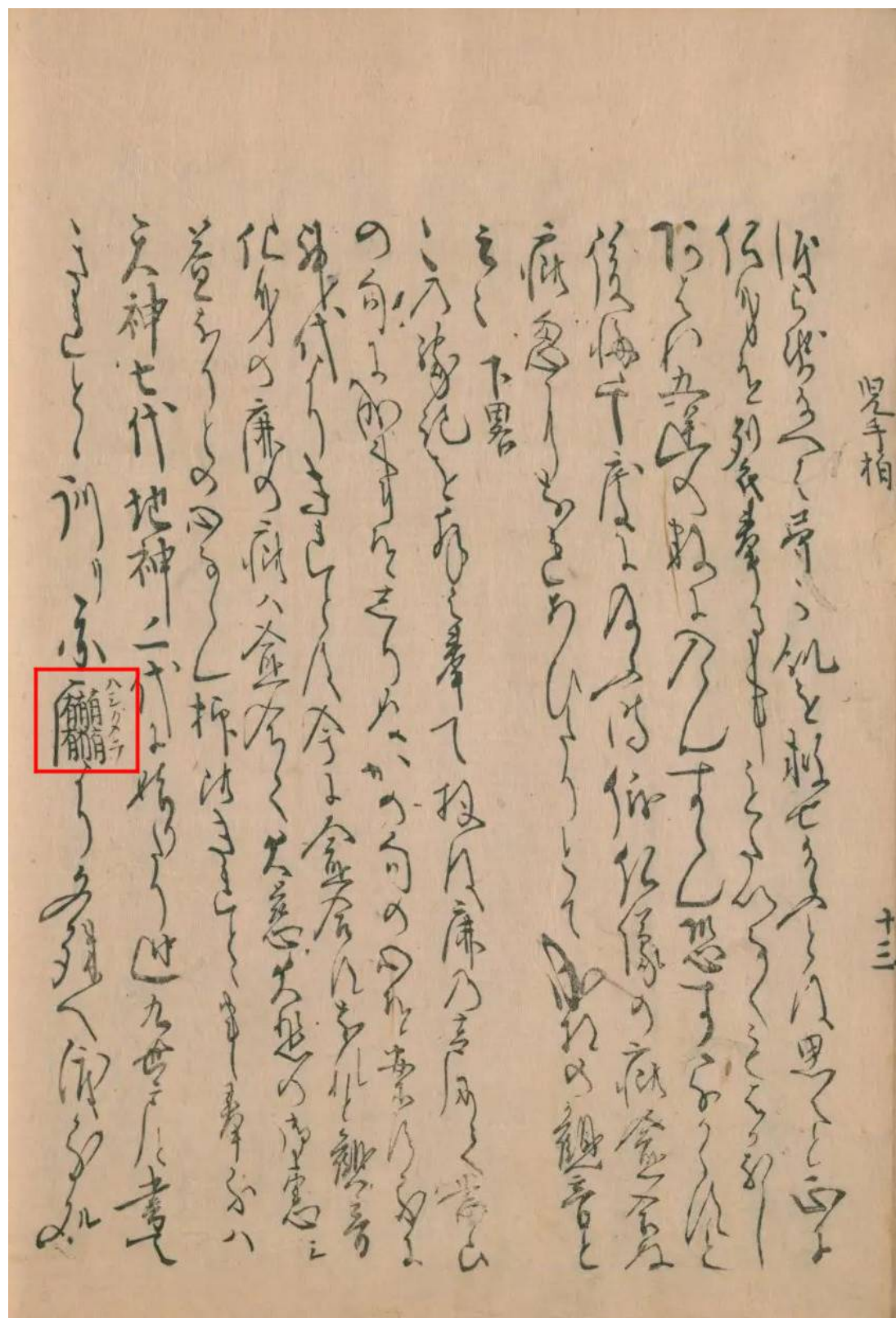


Fig. 50 笹原宏之 (2023). 方言漢字事典. 研究社. p. 6

定部 𠄎𠄎𠄎𠄎 𠄎𠄎𠄎𠄎 𠄎𠄎𠄎𠄎 𠄎𠄎𠄎𠄎 39画	厂部 𠄎𠄎𠄎𠄎 𠄎𠄎𠄎𠄎 𠄎𠄎𠄎𠄎 𠄎𠄎𠄎𠄎 38画
はしだて	あまのはしだて

京都府の地名に見られる地域文字。
京都府北部の景勝地で、日本三景の一つ「天橋立」を表す。

Fig. 51 上田万年 (1938). 大字典 2180 版. 啓成社. p. 1407

[https://dl.ndl.go.jp/pid/1784805/1/7763](https://dl.ndl.go.jp/pid/1784805/1/763)

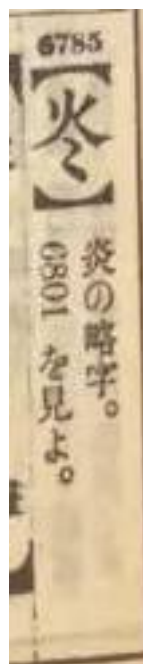


Fig. 52 育徳財団 (1941). 平家物語：真字熟田本 巻第 1

<https://dl.ndl.go.jp/pid/1142751/1/4>

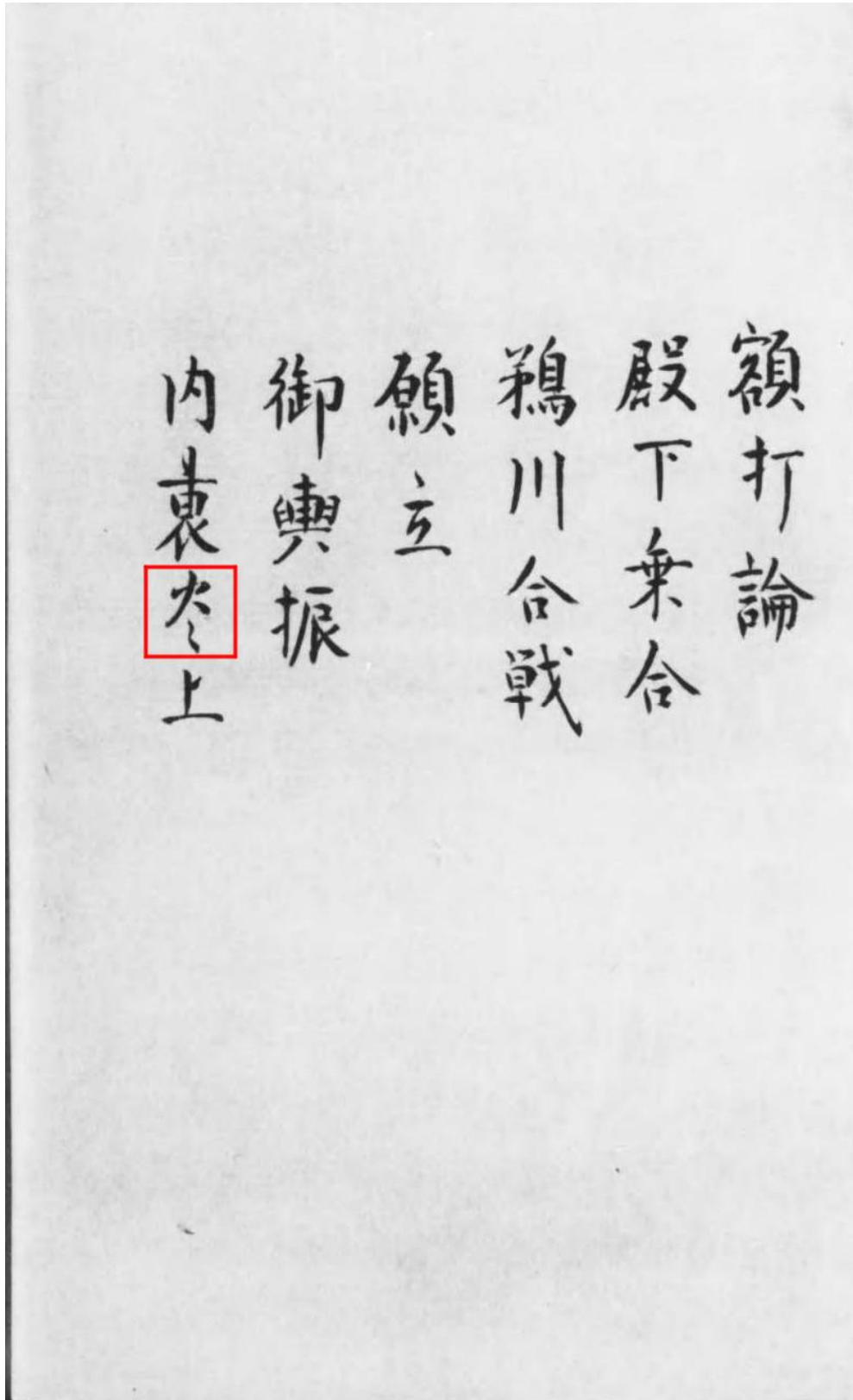


Fig. 53 菊地恵太. 日本略字体史研究. 博士論文（要約）. p. 5

<https://tohoku.repo.nii.ac.jp/record/128288/files/190327-Kikuchi-554-0.pdf>

A1 類（𠂔・𠂔の類）	𠂔（𠂔） 𠂔（𠂔）
A2 類（草書字体）	𠂔（𠂔）
B 類（尺の類）	𠂔（𠂔） 𠂔（𠂔）

この他「𠂔」に関しては、「尺迦」「会尺」等のように「𠂔」の代りに「尺」を使用する例が存するため（夙に新井白石『同文通考』（正徳頃成立）に指摘がある）、これとの関わりも含めて考察を加える必要がある。

調査の結果、平安時代以前においては、「𠂔」を「尺」と略記する手法、及び旁を「尺」に作る字体はいずれの文献にも出現せず、「𠂔」等の字種を略記する習慣がほとんどなかったと思われる。院政・鎌倉期には、仏教関係者を中心に「𠂔」を「尺」と略記する手法が用いられ、「尺」に偏を附加した「𠂔」字体も一部では用いられるようになった。但しこの段階では、「𠂔」以外の字種には「尺」という旁を応用することはほぼなかった。

室町時代中後期に至ると、「𠂔」の略字としての「尺」も引き続き見られるが、言語辞書類や抄物等において「𠂔」字体も頻用されるようになる。また「𠂔」以外の字種にも旁「尺」が応用されるようになった。この時期に至って、旁の「𠂔」が「尺」に置き換わっていることが分析され、他の「𠂔」「𠂔」等の字種にも類推が及ぶようになったと考えられる。則ち、漢字字体を構造的に捉え、単位体を自由に組み合わせたり置換えたりすることが可能になるとともに、新たな略字を造り出し積極的に利用しようとする字体意識の変化が、中世後期の日本において顕著に認められると言える。

第6章 疊用符号を利用した略字体

本章で取り上げるのは、「𠂔・𠂔・𠂔」に見られる、点を四つ記した「𠂔」という単位体である。元の字体「𠂔・𠂔・𠂔」から見れば、「𠂔」は同一単位体（それぞれ「止・耳・田」）が三つ連なる場合に用いられる符号と言える。また現在の常用漢字には残っていないが、曾て「𠂔」（𠂔）𠂔（𠂔）のような字体が存し、点を二つ記す「𠂔」も、同一の単位体が二つ重なる場合に用いられる符号と解することができる。

「𠂔（𠂔）」のように「𠂔」を利用する略記法は、中国でも宋・元代頃から見られるが（劉復・李家瑞編（1930）『宋元以来俗字譜』に拠る）、同一単位体を三つ連なる字体を「𠂔」で省略するのは日本独自の手法と見られる。

古辞書（言語辞書）やその他の文献（仏教説話、物語、古記録、抄物等）における使用字体を調査したところ、中国由来と見られる「𠂔・𠂔」の使用は、比較的早く15世紀前期頃から例が見えるが、当初はこの2字種以外に符号「𠂔・𠂔」を用いた略字は見られない。しかし15世紀後期には「𠂔（𠂔）」「𠂔（𠂔）」等、同一構成要素を3つ連ねる字体を「𠂔」符号で省略する手法が見え始めるようになった。16世紀以降はさらに多くの字種で「𠂔」

Fig. 54 菊地恵太 (2018). 畳用符号を利用した略字体の成立と展開. 日本語の研究, 14(2).
p. 102. https://www.jstage.jst.go.jp/article/nihongonokenkyu/14/2/14_101/_article/-char/ja/

102

いないが、曾て「𪛗」（𪛗）「𪛗」（𪛗）のような字体が存在した。このように点を2つ記す「𪛗」も、同一の構成要素が2つ重なる場合に用いられる符号と解される。

本稿ではこうした符号を用いた略字がいつ頃から用いられ、いかなる過程を経て定着するか、その変遷を明らかにし、漢字字体史上における略字使用の変化の傾向を示すこととしたい。

2. 先行研究・研究史

2.1 符号「𪛗」「𪛗」について

「𪛗」「𪛗」の符号は一般的に、同一構成要素の繰返しを表す符号、或いは省略符号と説明されるものである。例えば、従来これについて触れた説明を見る。

- (1) 【𪛗】：相同的偏旁上下重疊時、下一偏旁俗書往往用兩點表示省略、如“𪛗”字俗作“𪛗”（清刊《目連記彈詞》）（張涌泉 1995、増訂本 2010：77）
- (2) 筆記經濟の追求が続くと、略字を生む結果となる。次の3例は、繰返し記号（𪛗）を含ませて意図的に点画を省いている。

𪛗（攝） 𪛗（壘） 𪛗（𪛗）（笹原宏之 2003：29）

- (3) （筆者註：略字のうち「符号代替」の例）將繁体字的复杂部件、改为简单的符号、以化繁为简。这种符号、既不表音、也不表义、约定俗成而已。例如：（略）

⑤𪛗：𪛗（攝）、𪛗（𪛗）、𪛗（壘）、𪛗（樂）、𪛗（藥）（何华珍 2004：116）

上記のうち「𪛗」「𪛗」「𪛗」「𪛗」の場合は、上部の構成要素「束」「耳」「田」「止」を残した上で下部の構成要素のみを符号化しているため、踊り字（「々」「ゝ」等）に似た原理での省略と見なせる。略字体の字体内における畳用符号も、いわゆる二の字点「𪛗」が字体内に応用されたと考えられそうである^{注1}。しかし(3)「𪛗・𪛗」の場合は、「𪛗」の部分そのものが符号「𪛗」に変化したもので、生成原理からすれば「𪛗」「𪛗」といった字体とは異なる。これは、毛筆で早書きにした際に「𪛗」が「𪛗」のような形に自然に変容した結果とも捉えられるため、ひとまず「𪛗・𪛗」等の畳用符号とは区別して考えるべきであろう。

ところで、「𪛗」と「𪛗」は点の向きが異なるため両者を同じ符号と見て良いかという疑問が残るが、筆者は「𪛗」は「𪛗」を横に2つ連ねた形が起源と考える。というのも、後に掲げる大東急本伊呂葉字類抄や明応5年本節用集といった古辞書では、「雨」の4点や「𪛗」「脊」等の横画4本を「𪛗」のように運筆し、元亀2年本運歩色葉集では漢数字「四」を意味する「𪛗」の形（元来これは「二」を並べたものであろう）も見える。このように点や横画を4つ記す形が運筆上「𪛗」と書かれることに不思議はなく、字体内の畳用符号「𪛗」が「𪛗」のような形に変容したと考えるのが妥当であろう。

Fig. 55 文部省普通学務局 (1919). 漢字整理案, 許容體案. p.10

<https://dl.ndl.go.jp/pid/1870630/1/67>

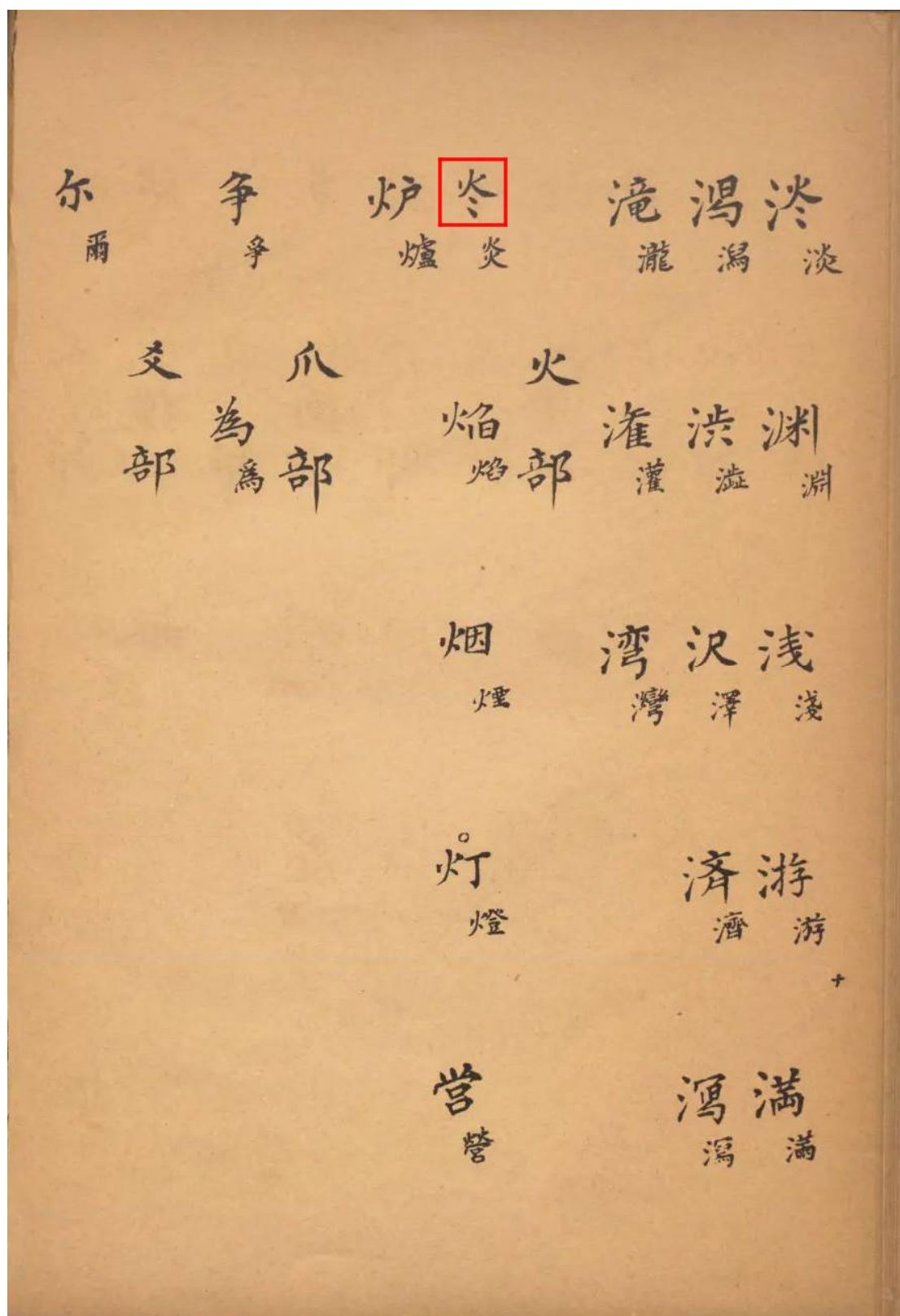


Fig. 58 陸軍中央幼年学校 (1915). 用字便覧. 陸軍中央幼年学校. p. 384

<https://dl.ndl.go.jp/pid/933692/1/207>

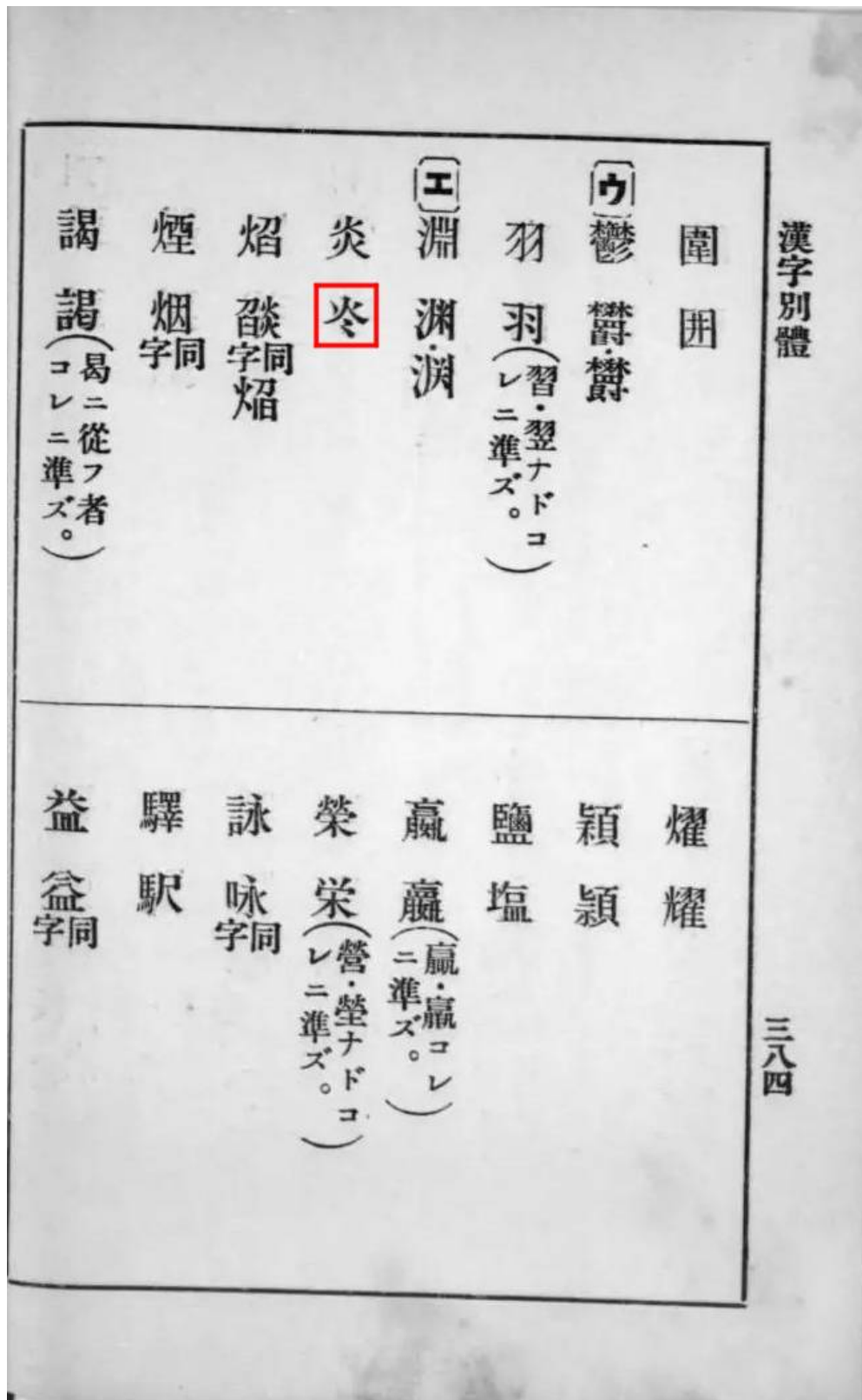


Fig. 59 胡懷琛 (1928). 簡易字說. 商務印書館. p.69

https://commons.wikimedia.org/w/index.php?title=File%3ANLC416-09jh002839-36570_%E7%B0%A1%E6%98%93%E5%AD%A9%E8%AA%AA.pdf&page=75

寒 就是「寒」字。(俗)
 譚 就是「譚」字。(俗)
 縹 就是「縹」字。(俗)
 饒 就是「饒」字。(俗)
 𤇗 就是「炎」字。(新)是從「寒」字推出來的。
 才 就是「纔」字。(古)極簡便,今白話文裏已通行。
 萃 就是「蘋」字。(特)水果店「蘋果」也寫作「萃果」。
 旦 就是「蛋」字。(特)菜館菜單。「蛋炒飯」多寫作「旦炒飯」。
 呆 就是「𤇗」字。今通作「呆」。
 夢 就是「夢」字。(俗)今已通行。
 駟 就是「驛」字。(俗)

第十章 簡易字彙二 化繁為簡的字

六十九

Fig. 60 山岡俊明 (1904). 類聚名物考 第5冊. 近藤活版所. p. 852

<https://dl.ndl.go.jp/pid/1869554/1/429>

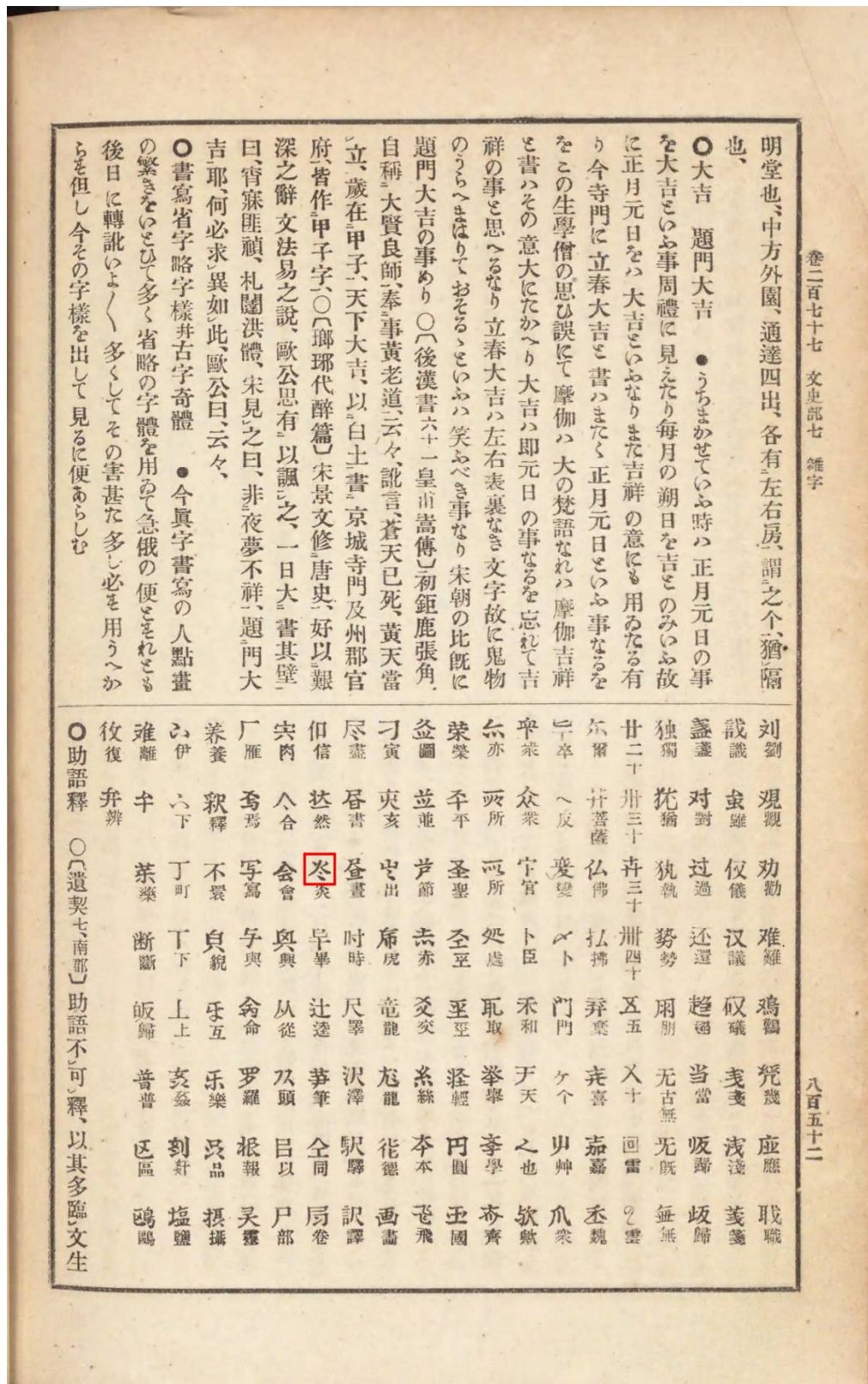


Fig. 61 上田万年 (1938). 大字典 2180 版. 啓成社. p.362

<https://dl.ndl.go.jp/pid/1784805/1/241>

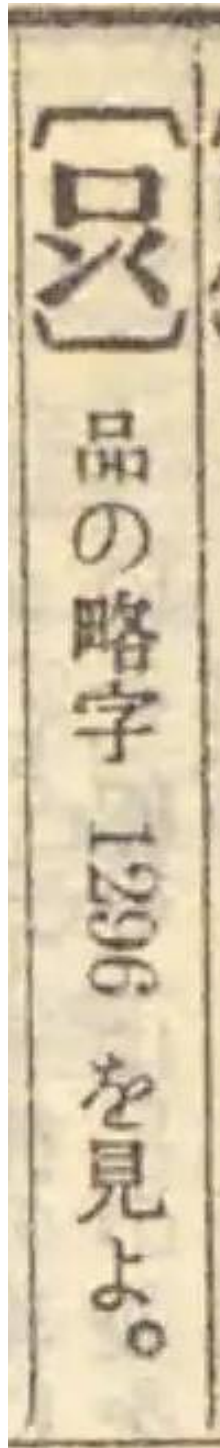


Fig. 62 陸軍中央幼年学校 (1915). 用字便覧. 陸軍中央幼年学校. p. 410

<https://dl.ndl.go.jp/pid/933692/1/220>

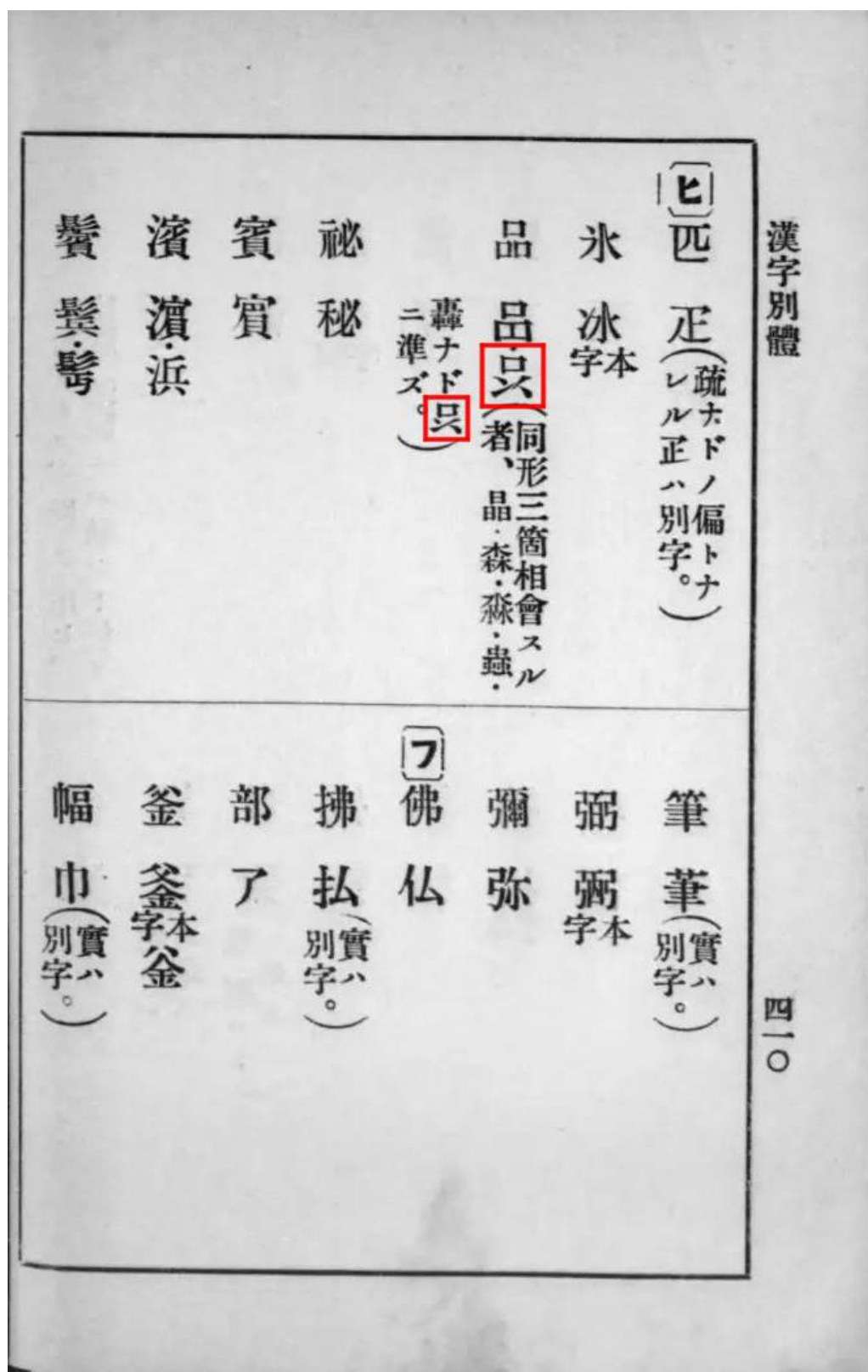


Fig. 63 育徳財団 (1941). 平家物語：真字熟田本 巻第 1

<https://dl.ndl.go.jp/pid/1142751/1/5>

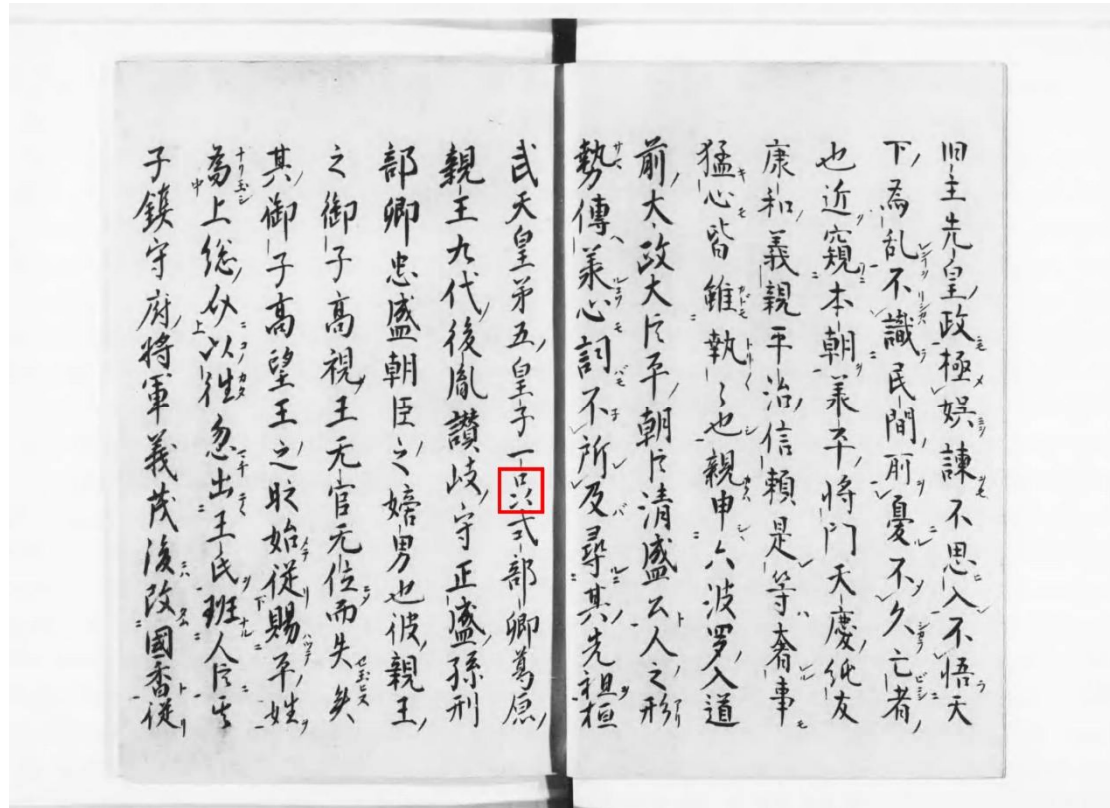


Fig. 64 菊地恵太 (2018). 畳用符号を利用した略字体の成立と展開. 日本語の研究, 14(2).
p. 104. https://www.jstage.jst.go.jp/article/nihongonokenkyu/14/2/14_101/_pdf

104

一方「纒」「讒」の字種も「と」を用いた略字が掲げられるが、「纒」は無註記(図2)、「讒」は「省」と註記があり(図3)、「倭」ではない。これらはいずれも和製字体であると解されていなかった可能性がある。

③太宰春台『倭楷正訛』附録省文集(1753年刊): 本書は中国製の省文と和製の省文を区別し、「華人」所_レ為_ル省文」として「纒」「讒」の略字「纒」「讒」、「倭俗」所_レ為_ル省文」として「出」の略字「𠂔」を挙げる。「出」の略字は「山」を2つ重ねた形と解したことによるものであろう。

④松井義山『古今字様考』(1861年刊): 本書は和製か否か区別せず、次の略字を挙げる。

(同一構成要素2つ) 讒棗 (3つ) 蟲

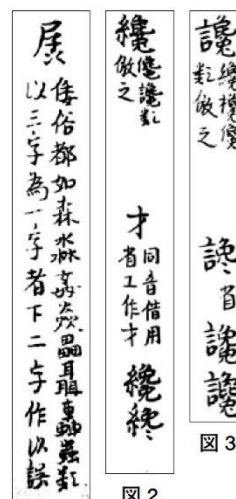


図2

図3

図1

『正楷録』の例
([異体字研究資料集成]
第7巻)

以上の研究を見ると、新井白石は「讒」も和製としているが、基本的には「𠂔」(𠂔)という旁を符号「と」によって省略する手法は中国由来であり、一方で同一構成要素を3つ乃至4つ連ねる字体の省略(𠂔)は日本独自のものとする向きが強いことになる。恐らくこれらの著者は、何らかの字書や漢籍を参照した上で、和製か否かを判断していたと思われるが、こうした省略の手法が日本においていつ頃から現れ普及してきたものか詳細は不明であり、調査の余地がある。

3. 調査方法・調査対象

調査対象とするのは、同一の構成要素が連続して用いられる字体^{注3}と、その連続する構成要素が畳用符号「と」又は「𠂔」によって省画される字体である。前者をA類、後者をB類とする。

(例) 構成要素2つの字種^{注4} A: 棗・讒 B: 棗・讒
構成要素3つの字種 A: 轟・攝 B: 𠂔・攝
構成要素4つの字種 A: 綴 B: 綴

同一構成要素が連続する字体と同字種と見られる字体であっても、同一の構成要素を繰返し連続して記したと認められない場合は、例数に数えない。例えば「品」字種の場合、「品」はA類、𠂔はB類として扱うが、下半部の「𠂔」が結合された「𠂔」や、全体的に字画が崩された「𠂔」のような字体は対象外となる。また「𠂔」「𠂔」等の字体とは省画の原理が異なる「𠂔(𠂔)」「𠂔(𠂔)」「𠂔(𠂔)」といった字体も、今回は調査対象としない。

また2.2節で見たように、江戸時代中期には既に符号「と・𠂔」による略字が存在す

Fig. 65 山岡俊明 (1904). 類聚名物考 第5冊. 近藤活版所. p. 852

<https://dl.ndl.go.jp/pid/1869554/1/429>

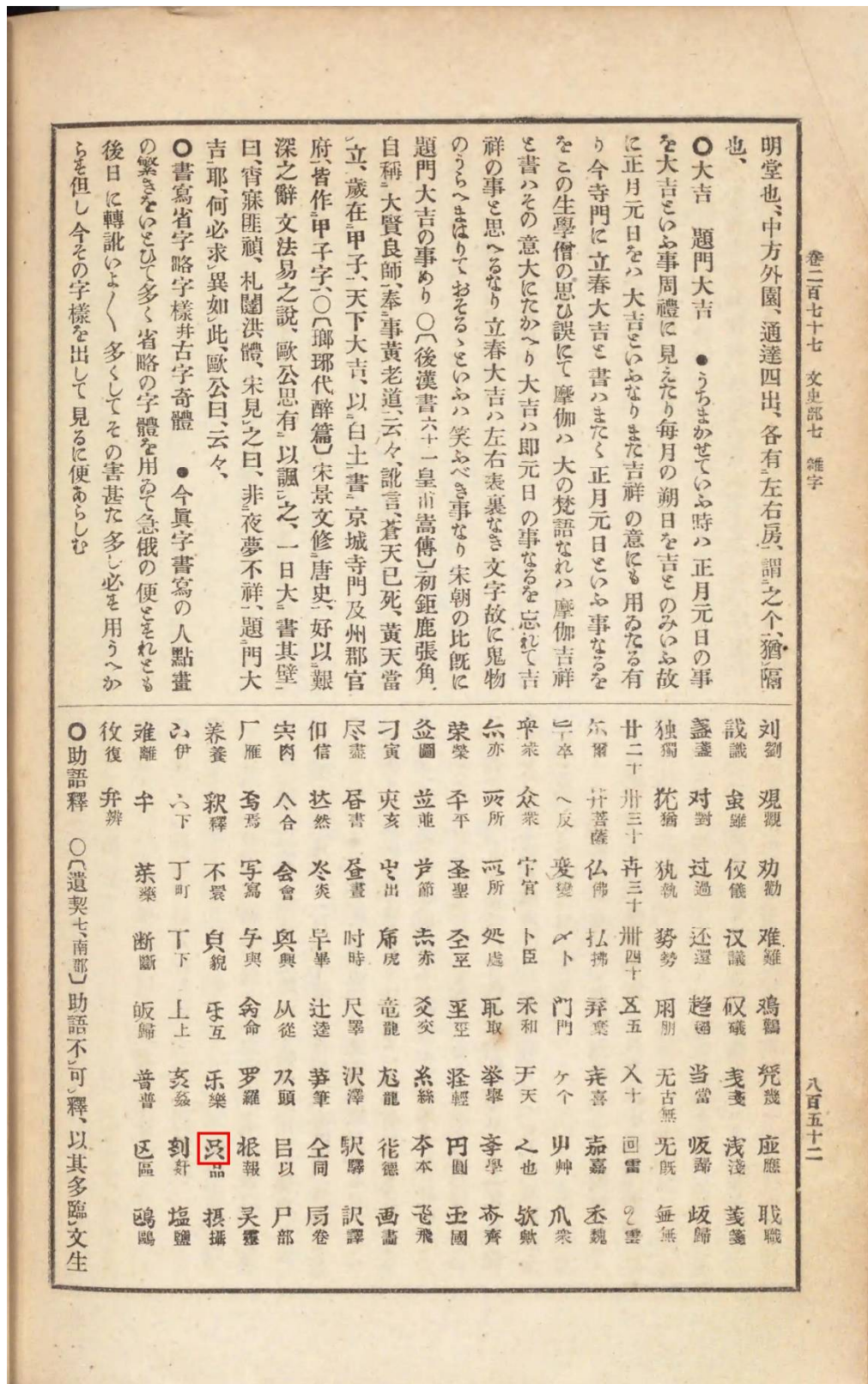
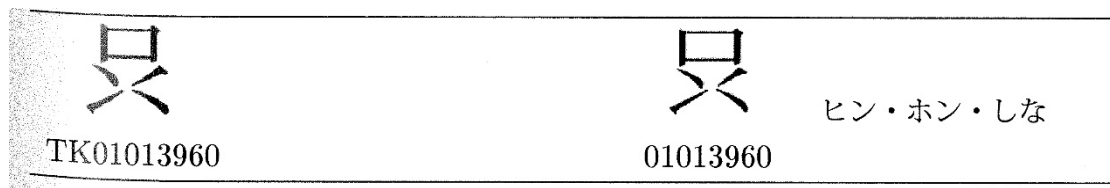


Fig. 66 TK01013960. 汎用電子情報交換環境整備プログラム成果報告書別冊 p.5127.



(End of document)